

第七十六回帝國議會
衆議院

樺太開發株式會社法案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
樺太開發株式會社法案(政府提出)
(第二〇號)

會議

昭和十六年二月六日(木曜日)午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 沖島 鎌三君

理事田代 正治君 理事松尾 孝之君

理事手代木隆吉君 理事松浦周太郎君

稲田 直道君

服部 英明君

澤田 利吉君

中野 寅吉君

菊池 良一君

津雲 國利君

同日委員中野寅吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ岩瀬亮君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

拓務大臣 秋田 清君

拓務次官 北島謙次郎君

拓務省殖産局長 植場 鐵三君

拓務書記官 中野 勝次君

樺太廳長官 小河 正儀君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

樺太廳技師 田畑司門治君

樺太廳技手 野路 光敬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

樺太開發株式會社法案(政府提出)

○沖島委員長 ソレデハ開會致シマス、委員ノ諸君ニ一寸御願ヒ致シテ置キタイト思ヒマスガ、御承知ノヤウニ今期議會ハ本會

議、委員會ヲ通ジテ非常ニ議事ヲ促進シテ居ルノデアリマス、豫算並ニ總動員法、國防保安法、是等ヲ除イテハ大抵一、二回位ノ委員會デ委員會ノ審議ヲ了シテ居ルヤウナ風デアリマスカラ、本委員會ニ於キマシテモ、成ベク本日竝ニ次回ノ委員會位デ質疑ヲ了スルヤウニ致シタイト考ヘマスガ、ドウカ其ノ積リデ議案ニ直接關係ノアル範圍ニ於テ質問ヲ御願ヒ致シマシテ、今期議會ノ新體制ニ順應スルヤウニ一ツ御努力ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、ソレデハ稲田直道君

○稲田委員 本案ニ對シマシテ政府ニ御尋ネテ致スノデアリマスガ、私ハ先ヅ第一ニ石炭ノ事業ニ付キマシテ御尋ネテ致シマシテ、次ニ木材ノ事業ニ付テ御尋ネテ致シマス、アト二、三御聽キ致シマスケレドモ、大體ニ於テ此ノ二ツニ付テ御尋ネテ致シテ見タイト思フノデアリマス、本日戴キマシタ資料ヲマダ能ク精讀致シテ居リマセヌノデ、或ハ資料ニ示サレタコトヲ御尋ネスルカモ知レマセヌガ、其ノ點ハ左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

先ヅ御尋ネ致シタイノハ、樺太ニ於テノ石炭ノ分布ノ狀態ニ付テ大體ノ御説明ヲ承リタイト思ヒマス

○小河政府委員 樺太ニ於ケル石炭ノ分布ノ概要ヲ申上ゲマス、御手許ニ差上ゲテアリマス資料ノ中ニ附圖ガゴザイマスガ、或ハ機密デ差上ゲラレナカッタカモ知レマセヌガ、大體樺太炭田ハ西ノ海岸ニズツト沿

ヒマシテ、一ツノ炭脈ガアリマス、ソレカラ中央ニ又一ツノ炭脈ガアリマシテ、東海岸ニ沿ウテ又一ツノ炭脈ガアリマス、大體西北ノ方、即チ惠須取以北ノ西海岸ニ賦存シテ居リマスノハ下部夾炭層ノ炭ト申シマシテ、是ハ發熱量モ良ク、其ノ中ノ或ル部分ハ粘結炭デゴザイマシテ、原料用炭ニナル炭デゴザイマス、其ノ炭脈ハズツト西ノ海岸カラ中央部ニ出テ參リマシテ、中央ノ所謂中部封鎖炭田ト云フ所ニ來テ居ルノガ即チ下部夾炭層ノ炭デゴザイマス、ソレカラ西海岸ノ南ノ海岸ニズツト沿ツテ南ニ參ツテ居リマスノハ上部夾炭層、東海岸ヲ走マシテ、現在アリマス炭田ノ中ノ一番主ナルモノハ西海岸ノ北部デゴザイマス、サウシテ其ノ中デ政府ノ所謂封鎖炭田トシテ持ツテ居リマスノハ北ノ中央部ノ北部封鎖炭田、是ハ上部夾炭層ノ水分ヲ澤山含シテ發熱量ノ割合ニ低イ炭デアリマス、ソレカラ眞中ニアルノガ中部封鎖炭田ト申シマシテ、是ハ下部夾炭層ニ屬シテ居ル發熱量ノ高イ炭デアリマス、此ノ中ノ一部分ハ昨年御承認ヲ得マシテ例ノ人造石油事業ニ使ヒマス爲ニ樺太人造石油會社ニ一部開放致シマシタ、又以前カラ島内用ノ色々ノ工場用炭其ノ他ニ使ヒマス爲ニ、其ノ中ノ一部デアリマス川上炭田ヲ三井ニ開放致シテ居リマス、ソレカラ今同此ノ會社ニ開放致シマスノハ此ノ一番南ノ所ニアリマス炭田デアリマシテ、此處ハ非常ニ複雑ニナツテ居リマシテ、

海岸ニ近イ所ハ上部夾炭層ノ炭デ水分ノ多イ炭デアリマス、其ノ中ノ一部分ヲ例ノ低溫乾溜事業ヲ助成致ス意味デ三菱ニ開放シテ、内幌ノ低溫乾溜工場ノ原料ニ使ツテ居リマス、其ノ奥ノ所ニアリマス炭田ハ即チ樺太廳ノ所有ニ屬シテ居リマス奥南名好炭田ト申シテ居ル所デゴザイマス、大體全部ノ埋藏量ガ今マデノ調査ニ依リマスト二三億「トン」ト云フコトニ相成ツテ居リマス、併シナガラ事實ハ將來ノ探礦ガ進ミマスレバモウ少シク澤山ニ埋藏致シテ居ルノデハナイカト存ジマス

○稲田委員 只今大體ノ分布ノ狀況ハ聽キマシタガ、其ノ中ニ於テ品質ノ七千「カロリー」以上ノモノノ存在スルモノト、四千「カロリー」内外ノモノノ存在スルモノノ分布狀態ニ付テ今少シク詳シク御説明ヲ願ヒマス

○小河政府委員 只今申シマシタ西海岸ノ北部ノ方ハ大體七千「カロリー」以上ゴザイマス、之ヲ種別ニ分ケテ申シマス、第一種ト申シマスノハ是ハ無煙炭デゴザイマシテ、第一種ニ屬シテ居リマス炭礦ハ諸津無煙炭坑ト云フノガ一ツゴザイマスガ、是ハ殆ド八千「カロリー」ニ近イ發熱量ヲ持ツテ居リマス、此ノ隣ニアリマスノガ第二種デ、是ハ亞無煙炭ト申シタラ宜シウゴザイマスガ、有煙炭ト無煙炭ノ合ノ子ノヤウナ炭デアリマス、是ハ諸津炭坑ト申シマシテ、是モ七千「カロリー」以上ゴザイマス、ソレカラ第三種炭田ト申シマセウカ、是ハ先程申シマ

シタ上部夾炭層ノ炭デゴザイマスガ、此ノ名前ヲ申シマス、安別、興南、北榮、立岩、西柵丹、豐烟、名好、北小澤、塔路、上塔路、斯ウ云フ種類ノ炭礦ニ屬シテ居リマシテ、只今最モ活潑ニ稼イデ居リマスノガ此ノ種ノ炭デアリマスガ、是モ大部分ハ七千以上ノ炭デアリマス、唯此ノ中デ、一部ハ粘結致シマスガ、粘結シナイモノモ中ニ多少混ツテ居リマス、併シ大部分ハ粘結炭ト申上デテ宜イト思ヒマス、其ノ次ノ第四種ト申シマス炭ハ太平、是ハ上部夾炭層ノ炭デアリマスガ、何カノ變化ヲ受ケマシテ非常ニ發熱量ガ高クナツテ居リマス、是モ七千以上ノ炭デアリマス、ソレカラ惠須取炭田、是モ七千以上ノ炭デアリマス、珍内、太平、川上、是ガ大體第四種ニ屬シマスガ、是ハ七千「カローリ」以上若シクハ七千「カローリ」ニ近イ、六千「カローリ」ニ屬シマス、併シ大體全部ハ非粘結性ノ炭デアリマス、其ノ他ノ炭ハ全部上部夾炭層ニ屬シテ居ルノデアリマシテ、發熱量ガ低クテ水分ノ多イ炭デアリマス、但シ灰分ハ非常ニ少ナクアリマスノデ、水分サヘ除イテ乾燥致シマスト發熱量ガ相當上ルノデアリマス、是ハ大體南珍内、小田州、内幌、内川、泊岸、知取、樺保、白浦、美田等ノ炭田ガソレニ屬シテ居リマス

○稻田委員 只今大體ノ分布狀態竝ニ品質ノ御尋ネテ致シマシタガ、大體ト致シマシテ、樺太ノ中部以南ノ石炭ハ、私ハ思ヒマスノニ、品質ガ、中部以北ニ比シテ惡イト思ハレマス、其ノ七千「カローリ」餘ノ品質ノモノハ、僅カニ以南ニ於テハ只今御話ノ如ク帝國燃料ノモノト川上炭山位ガ最近ニ於テハマア良イノデハナイカト思フノデアリ

マス、其ノ他ハ皆大體ニ於テ四千「カローリ」程度ノモノデハナイカト思ハレマス、而シテ中部以北ノ炭ハ概シテ今ノ御話ノ如ク品質ガ非常ニ宜シイ、特ニ其ノ中部以北ノ西海岸ニ於テノ奥地程良質ノモノガアルラシイノデアリマス、而シテ其ノ東海岸ノ方ハ良質ノモノハ先ツ飛ビ「デアツテ」、不良ナモノガ東海岸ニ多イヤウニ思ハレマス、特ニ國境方面ニ於テハ良質ノモノガアルラシク、現在王子製紙ノ持ツテ居リマス半田澤炭山ノ如キハ其ノ部類ニ屬スルモノデハナイカト思ハレマス、ガ大體ニ於テ今ノ政府委員ノ御話ヲ聽キマシテモ、私が調べテ居ル所ニ依リマシテモ、是等ノ炭山ト雖モ其ノ悉クガ採算ニ合ツテ居ル譯ノモノデハアルマイト思フ、採算ニ合フモノハ、交通運搬ノ便ノ多イモノハ少數デハナイカト思ハレマス、政府ハ年々百万「トン」ノ石炭ヲ而モ永年ニ互ツテ掘ラレル計畫デアラシイ、今ノ御話ニ依リマス、南部ノ奥南名好ノ炭山ヲ此ノ會社ニ御委セニナルヤウナ御話デアリマスガ、ソレバカリデハ將來行キマスマイ、果シテ然リト致シマスレバ、將來樺太ノ各地ニ於テ此ノ會社ガ採掘ヲスルト致シマスレバ、ソレガ採算ニ合フヤウナ採掘ヲスルニハ、ドウ致シマシテモ、交通運搬ノ便ノ良イ所デナイト、此ノ會社ノ最近掘ゲテ居リマス利益配當ハ中々困難デハアルマイカト思フノデアリマス、ソレガ第一ノ要點デアリマス、今御話ノ南部ノ奥南名好ノ炭山、其ノ他將來此ノ會社ニ委セラレル豫定ノ炭山等ニ付テモ、交通運搬ノ便ガ良イカ惡イカ、交通ノ便ガ惡ケレバ果シテ一年、二年、三年ノ内ニ、港灣ノ改良ヤ或ハ舛ヤ何カノ便ノ出來ルヤウナ所

トカ、或ハ鐵道ヲ附ケルトカ云フヤウナ目論見ヲ持ツテ居ラレルノデアルカドウカト云フコトニ付テノ御腹案ヲ承リタイ
○小河政府委員 御答ヘ申上デマス、只今申上デマシタノハ概括的ノ論デゴザイマス、北部ガ大體良イ炭デ、南部ノ方ガ大體惡イ炭ト申シマシタガ、南部ノ方デモ所謂中部封鎖炭田ニ屬シテ居リマス川上炭礦ノ炭、ソレカラ先程申上デマシタ樺太人造石油ニ開放致シマシタ内淵ノ炭ハ大體良イ炭デゴザイマス、大體今度開放致シマスル奥南名好ノ炭田ノ炭ハ略、内淵ノ炭ト同様ナ炭質デゴザイマシテ、大體七千「カローリ」以上ノ發熱量ヲ持ツテ居ル炭ダト思ヒマス、唯非粘結性デゴザイマス、ソレデスカラ炭質トシマシテハ相當ニ良イト思ツテ居リマス、ソレカラ交通ノ問題デゴザイマスガ、全ク申サル通りデゴザイマスガ、奥南名好ハ大體海岸カラ十「キロ」内外デ炭層ニ着クノデゴザイマス、既ニ只今露頭ノ探掘ハ致シテ居リマスガ、此ノ露頭モ相當大キイ露頭ガ長距離ニ互ツテ出デ居ルヤウデゴザイマスノデ、採炭上ノ條件モサウ惡クハナイト思ヒマス、運搬上ノ條件ト致シマシテハ、大體十「キロ」内外ノ軌道ヲ敷キマスナラバ南名好ノ海岸マデ持ツテ來ルコトガ出來マシテ、此ノ南名好ノ海岸デハ取敢ズ舛荷役デ本船積ヲシタイ、斯ウ云フ積リデ居リマス、御承知ノヤウニ樺太ハ大體眞岡以北ト申シテ宜シウゴザイマスガ、眞岡モ凍ルコトハゴザイマスガ、眞岡以北ハ冬季間氷結致シマスガ、眞岡以南、特ニ本斗以南ニ參リマス不凍ノ海岸デゴザイマス、隨テ南名好ハ本斗ヨリ尙ホ南デアリマスノデ、此處ハ一年中氷ニ鎖サレル處ノナイ所デアリ

マスノデ、冬ノ積出モ可能性ガアルト思ヒマス、ソレカラ將來ノ問題ト致シマシテハ、新規計畫其ノ他ニハ入ツテ居リマセヌガ、只今本斗カラ内幌ニ至ルマデノ間ニハ、内幌ノ炭田ガ私設鐵道ヲ敷キマシテ、運搬ヲ致シテ居リマスガ、内幌、南名好間ハ將來鐵道ヲ敷ク必要ガアルト思ツテ居リマス、左様ニ致シマスルナラバ、此ノ炭田ノ炭ハ本斗ノ南ヘ持ツテ參リマシテ、本年度ノ豫算ニモ、多少ノ改訂ヲ加ヘテ本斗ノ港ニ將來石炭積出ノ施設ヲスルヤウニ築港計畫ノ變更ヲ致シテ居リマスガ、此ノ計畫ト相伴ヒマシテ、コチカラ出シマス炭ハ積出其ノ他非常ニ便利ニナルト思ツテ居リマス、ソレカラ將來他ノ炭田ヲ開ク場合ニドウカト云フ問題デアリマスガ、只今直チニ他ノ炭田ヲ之ニ開放スルト云フ定マツタ計畫ハナイノデゴザイマスルガ、將來トモ特殊會社デゴザイマスルノデ、其ノ性質ニ稽ヘテ政府ノ封鎖致シテ居リマス炭田ハ、原則トシテハ此ノ會社ニ經營ヲサセタイ希望ヲ持ツテ居リマス、將來殘ツテ居リマス炭田ノ中デ炭質其ノ他ガ良イ所ノ炭ハ、封鎖炭田ノ中デ泊居鑛區ト内淵鑛區ノ北ニ殘ツテ居ル所デゴザイマス、ソレカラ只今此ノ會社ニ開放致シマスル奥南名好ノ北ニ連ナツテ居リマスル奥内幌ノ炭田、ソレカラ此ノ會社ニ開放致シマスル炭田ノ東ニアリマス所ノ雨龍炭田、斯様ナ所ガ將來開放致スベキ豫定ノ、相當ナ炭質炭量ヲ持ツテ居ル炭田デゴザイマスルガ、他ノ所ハ割合ニ交通其ノ他ガ不便デゴザイマスルノデ、軌道其ノ他ガ長距離ニ敷カナイト出炭ヲ見ルコトガ難カシイト云フヤウナ關係ニアリマス、最モ便利ニ出セル所ガ此ノ奥南名好ノ炭田

デアリマスルノ此ノ會社ニ之ヲ經營サセテ早急ニ出炭ヲ致シマシテ、我國現下ノ石炭事情ニ應ジタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○**稻田委員** 政府ノ見積リ書ニ依リマスレバ、其ノ第二年ニ百五十萬圓、第三年ニ二百六十萬圓、第四年ニ三百三十萬圓、第五年ニ四百萬圓程度ノ純益ガアルヤウニナツテ居リマスルガ、其ノ根據ハ果シテ如何デアリマセウカ、即チ第一年ニ炭デ幾ラ、木材デ幾ラ、第三年、第四年、第五年ニソレゾレ幾ラト云フ御説明ヲ承リタイト思ヒマス

○**小河政府委員** 茲ニハ第一年ダケシカゴザイマセウガ、石炭探掘ニ於キマシテ第一年度ニ於キマシテハ差引三十四萬圓ノ利益ヲ擧ゲル豫定デゴザイマス、ソレカラ木材研伐ニ於キマシテ六十二萬餘圓、ソレカラ造林ニ於キマシテハ約五萬圓ノ缺損、農業經營ハ初年度ハゴザイマセウノデ、傍系會社其ノ他ノ仕事ニ於キマシテ約二十八萬圓ノ損失、差引キマシテ六十三萬九千餘圓ノ利益ニナル計算ニ相成ツテ居リマス

○**稻田委員** 爾後ノ年度ノ計算ガ御分リニナツテ居リマシテモ、今日御發表ガナイト云フコトハ洵ニ困リマスガ、大體ニ於テ政府ハ四年、五年目ニハ石炭ヲ豫定計畫ノ百萬「トン」ニセラレルデアラウ思ツテ居リマス、其ノ際「トン」當リノ利益ヲ何程ニ見テ居ラレマスカ

○**小河政府委員** 大體「トン」當リ四圓ノ利益ヲ見ルコトニナツテ居リマス

○**稻田委員** 先般御尋ネスルノヲ言ヒ落シマシタガ、大體ニ於テ現在此ノ會社ニ御任セニナル豫定ノ山、其ノ他將來ノ山ニ於キ

マシテノ「カロリー」ハ皆良イノデスカ、七千程度ノモノデアリマスカドウカ御伺ヒ致シタイ

○**小河政府委員** 先程申上ゲマシタ泊居炭田、奥内淵炭田、奥内幌炭田、ソレカラ雨龍炭田等ハ大體此ノ炭田ト同質ノ炭ノ見込デゴザイマス

○**稻田委員** 左様ニ「カロリー」ガ宜シイナラバ洵ニ結構デアリマスルガ、交通、運搬ノ便サハ宜イナラバ四圓ト云フコトハドウカト思ヒマスガ、三圓程度ノ利益ハ見ラレマセウ、併シ政府ノ今ノ御話ノ如ク七千「カロリー」程度ノモノナラバ宜イガ、假リ

ニソレガ下リマシテ四千「カロリー」程度ノモノニ落チマシタ場合ニ於テハ、到底四圓三圓ノ利益モ難カシイデハナイカト思ヒマス、今日ハ非常ニ石炭ガ缺乏シテ居リマシテ、假令「カロリー」ガ低クテモ諸方面カラ非常ニ需要ガアリマシテ比較的利益ガ上ゲラレテ居リマススケレドモ、一旦平和來ニデモナリマシタ場合ニハ、惡イ炭ハサウ旨ク賣捌キガ付カヌデハナイカト思ヒマス、ソレニ付キマシテ政府ノ將來ニ於ケル採算ノ觀點ト云フモノガ、私ハ餘リニ樂觀シ過ギルデハアルマイカト思フ、運搬ノ便ガ宜クテ、サウシテ七千「カロリー」程度ノモノデアリマスナラバ、三圓内外ノ見積リハ或ハ可能デアアルカモ知レマセウスケレドモ、將來掘ル炭ガドウ云フ「カロリー」カ分ラナイモノニ、四圓程度ノ利益ヲ見積ツテ居ラレルト云フコトハ、私ハ採算ガ外レハシナイカト思ヒマス、此ノ邊ニ付テ將來會社ガ出來マシテ經營サルル上ニ於キマシテモ、十二分ニ此ノ採算ニ付テ御要心ガ必要デハアルマイカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテ

尙ホモウ一度政府ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○**小河政府委員** 炭質ニ付キマシテハ此ノ炭田ハ餘リ心配ハナイト實ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ四圓程度ノ利益ヲ出シマシタ其ノ計算ノ基礎ハ、大體此ノ炭田カラ出サレマシテ海岸マデ持ツテ來テ、海岸ノ貯炭場仕上リ原價十二圓五錢ノ見積ヲ致シテ居リマス、サウシテ是ガ内地ノ今ノ日本石炭ノ規格ニ依ツテ定マツテ居リマス海岸ニ於ケル日本石炭ノ買取價格ガ十六圓五錢、斯ウ云フ豫定デ居リマシテ、四圓ノ利益ト云フ計算ニ相成ツテ居リマス、而シテ此ノ計算ハ只今調査ヲ委託致シテ居リマス東拓ノ技術者ノ經營ノ豫定カラ見マシテモ、大體斯様ナ計算ニ行クノガ可能デハナイカト云フ計算ノ基礎カラ出テ居ル次第デゴザイマス、唯御承知ノ如ク將來ノ勞銀ハ今後トモ上ツテモ下ル氣遣ヒハナイ、其ノ他物資ニ致シマシテモ昂騰ヲ致シマシテモ低落ヲ見ルコトハナイト云フヤウナ事情ヲ考ヘマスナラバ、餘程注意ヲ致シテ經營シナイト此ノ採算デ間違フヤウナコトガナイトハ保シ難イノデゴザイマスガ、十分氣ヲ付ケテ經營ニ當ラセマシテ、將來ハ其ノ採炭經費其ノ他ノ點ニ於ケル引下ゲト云フコトヲ努メマシテ、十分ナル成績ヲ擧ゲサセタイト考ヘテ居リマス

○**稻田委員** 議事ノ進行ニ付テ申上ゲマスガ、此ノ五千萬圓ノ大ナル會社ノ法案ニ對シマシテ、大臣ノ出席ノナイト云フコトハ遺憾デアリマスガ、委員長如何デアリマスカ

○**沖島委員長** 大臣ハ今貴族院ノ豫算總會ニ出席セラレマシテ、其ノ方ガ終了スレバ

此處ニ出席サレル豫定ニナツテ居リマス

○**稻田委員** 然ラバ大臣ニ代リマシテ重要ナル質疑ニ對シマシテハ、次官ヨリ責任アル御答辯ガ承リタイト云フコトヲ申上ゲルモノデアリマス、次ハ木材ニ付キマシテノ事業ニ關スルコトヲ御尋ネ致シマス、本會社ハ鑛業用及ビ公用材ヲ樺太廳ヨリ毎年約五百萬石ノ賣拂ヲ受ケルト云フコトデアリマスルガ、此ノ五百萬石ト云フモノハ、勿論立木ノ五百萬石デアルト私ハ思ヒマス、果シテ然ラバ之ヲ木材ト致シマスルナラバ二百五十萬石内外ニナルト思ヒマスルガ、左様ニ此ノ案ニ付キマシテハ計算ヲ致シテ宜シウゴザイマセウカ

○**小河政府委員** 其ノ通りデアリマス

○**稻田委員** 本會社成立後ニハ此ノ木材ノ研伐事業ヲ會社ノ直營デ以テヤラルル方針デアリマスルカ、或ハ又會社以外ノ他ノモノニデモヤラセル場合ガアルノデアリマスカ

○**小河政府委員** 此ノ會社成立ノ後ハ、直營デ致シマスル部分モアリマスルガ、現在ノ當業者ニ急激ナ變化ヲ與ヘナイ意味ヲ以テマシテ、或ル部分ハ現在ノ業者ヲ下請トシテ使ヒマスル豫定デアリマス

○**稻田委員** 果シテ然リト致シマスルナラバ、本會社成立後ニ於キマシテ直營事業ニ於テ本案通り研伐ヤラルルニ付キマシテ、大體如何ナル地域ノモノヲ如何ナル手段、方法ニ依ツテオヤリニナル積リデアリマスルカ、勿論本案ニハ利益配當ノコトマデ掲ゲテアリマスル以上ハ、會社成立ノ上ハ、第一年ニハ何處ヲ伐リ、第二年目ハ彼處ヲ伐ルト云フコトハ大體豫定計畫ガナケレバナルマイカト思ヒマス、此ノ豫定計畫ノ利

益表ハ、大體第一年ノ表ハ承リマシタガ、一ト思ヒマスガ、果シテサウ云フコトハアリ
第二年、三年、四年ノ利益計算モ承レレバ、
後刻ニ於テデモ宜シイカラ、承リタイ、而シ
テ本會社成立後ニ於キマシテ、直營ニ依ツ
テ本案通りノ研伐ヲヤラルト致シマスル
ナラバ、今ノ政府ノ計畫デハ第一年、第二
年等ニ於テドノ地域ヲ研伐セラルル御都合
デアリマスカ、大體ノ方針ヲ承リタイト思
ヒマス

○小河政府委員 只今御尋ネノ點デアリマ
スルガ、此ノ會社成立ノ後ニ研伐ヲサセル
ベキ地方ニ付キマシテハマダ定ツテ居リマ
セス、是ハ大體明年度はガ出來上リマシタ
上デ冬山カラ研伐ヲサセル積リデアリマス
ノデ、是ハ夏季時分ニナラナイト其ノ場所
ハ決定ヲ見ナイノデアリマス

○稻田委員 サウ云フ御説明デハ五千万圓
ノ豫算ヲ計上サレマシテ、サウシテ第一年、
第二年、第三年ノ利益ノ純益ノゴトマデ出
シテ居ラルル此ノ計算ノ根據ガ洵ニ不十分
デハナイカト私ハ思フノデアリマスルガ、
今少シ十分ナル御計算ヲシテ、御示シ願ハ
スト云フト、洵ニ私ハ遺憾ニ思フノデアリ
マス、而シテ從來樺太ニ於キマシテハ、官
行研伐モヤツテ居ラレマスルガ、ソレニ依
ツテ從來行ハレマシタル地域ト云フモノハ
大體ニ於テ汽車ノ沿道ガ主ナルモノデアツ
テ、普通ノ民間業者ガ艱難辛苦ヲシテヤツテ
居リマスル奥地ノ方面ノ研伐ト云フモノハ
餘リ官行研伐デハヤツテ居ラレナイ、今長官
ノ御話ニ依リマスルト云フト、ドウモ立案ノ
基礎ガ薄弱デハナイカト思フ、而シテ其ノ
立案ノ骨子ハ從來ヤツテ居ラレル交通ノ便
ノ宜イ官行研伐ヲヤラレタ平易ナ仕事振リ
ニ目安ヲ置イテ居ラレルノデハナカラウカ

マスマイカ、長官ノ御説明ヲ願ヒタイ
○小河政府委員 御懸念御尤モデゴザイマ
スガ、此ノ計算ノ基礎ト致シマシテハ、官
行研伐ゲケヲ基礎トシテ居ルモノデハナイ
ノデアリマス、只今昨年度カラヤツテ居リ
マス公用材ノ研伐ノ成績其ノ他モ斟酌致シ
マス、或ハ民間ノ現在ヤツテ居リマス、造
材事業ノ實情モ斟酌致シマシテ、サウシテ
大體中庸ノ所ヲ取ツテ計算致シテ居リマス
ガ、此ノ計算ノ基礎ハ大體丸太百石アタ
リノ生産費ハ、場所ト樹種ト違ヒマスガ、
之ヲ大體平均致シテ見マシテ原木代金ヲ三
百三十圓、造材費及ビ集材所マデノ運搬費
ヲ含ミマシタ伐出費ヲ五百十四圓、其ノ他
ニ職員ノ給料、諸税及ビ事務費等ノ總體掛
費ヲ五十一圓、設備其ノ他ノ銷却、修繕費
等ヲ百石アタリ五百ト見積リマシテ大體仕
上リ九百圓ト云フコトデアリマシテ、之ヲ
百石海岸渡ノ價格千圓デ渡スト云フ計算カ
ラ出テ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願
ヒマス

○稻田委員 然ラバ尙ホ御尋ネ致シマスガ、
奥地ノ方面ヲ有利ニ仕事サレルニ付キマシ
テ將來ドウ云フ手段方法ヲ以テヤラレル積
リデアリマスカ

○小河政府委員 是ハ當會社ダケノ問題デ
ハアリマセズ、樺太全體ト致シマシテ今
日未利用ニ屬シテ居リマス奥地ノ非常ニ不
便ナ所ニ相當ノ材ノ蓄積ガアルノデアリマ
ス、斯ウ云フ所ノ開發ニ當ツテハ將來森林
土木事業、即チ林道、軌道其ノ他ノモノヲ
敷設シテ參リマシテ、今日不便ヲ利用ノ出
來テ居ラス地方ノ資材ヲ利用スルヤウニ努
メタイト實ハ考ヘテ居リマス、軌道ノ問題

ニ付キマシテハマダ御協賛ヲ經ルマデニ至
ツテ居リマセズガ、林道其ノ他ノ森林土木
事業ニ於キマシテハ來年度豫算ニモ多少ノ
經費ヲ見積リマシテ御協賛ヲ仰イデ居ルヤ
ウナ次第デアリマス

○稻田委員 只今ノ説明ハ洵ニ左様簡單ニ
出來レバ宜イト思ヒマスガ、實際ニ於テ奥
地ノ山林或ハ、鑛山ヲ開發サレルノハ樺太
ノ氣候風土竝ニ資材勞力等カラ考ヘマシテ
中々是ハ容易ナラザルモノデアルト考ヘマ
ス、本會社ノ生キルカ死ヌカト云フ問題モ
要スルニ資材、勞力、交通運搬ノ便ノ如何
ニ懸ツテ居ルト思フノデアリマスガ、只今
ノ御説明ハ、申シマスレバ答辯ノ爲ノ答辯
ト云フ位ニ其ノ手段ヲ御披露ニナツタトシ
カ考ヘラレスト言ツテモ私ハ差支ナイト思
フ、サウ簡單ニ行クナラバ、此ノ會社ハ儲
カツテ仕様がナイ位デアリマセウ、此ノ會
社ハ半官半民ノ會社デヤラレルノデアリマ
シテ、洵ニ事業ト致シマシテハ政府ガ關係
シテ居ルカラ宜イカモ知ラスト思ハレルケ
レドモ又一面ニ於テハ洵ニ危險ナ事業デハ
ナイカト思フ、餘程ノ考慮ヲ要スルト思ヒ
マスガ、果シテ政府ニ於キマシテハ此ノ半
官半民ノ會社デ爾ク簡單ニ資材ノ整備、
勞力ノ補給竝ニ總テガ簡單ニ行クト思ハレ
マスカ、其ノ點ニ付テノ用意、覺悟、決心
等ヲ御述べニナリマシテ、自信アル經營ガ
出來ルカ出來ヌカト云フコトヲ尙ホ能ク聽
キタイト思ヒマス

○小河政府委員 御懸念御尤モデゴザイマシ
テ、當局ニ於テモ全く同様ニ懸念ハ致シテ
居リマス、是ハ平常ノ年デアレバソレ程心
配ハ致サナイノデアリマスガ、御承知ノヤ
ウナ國內情勢ニ相成ツテ居リマシテ、資材

ヲ得ルト云フコトニ非常ニ困難ヲ見テ居ル
時デアリマスルノデ、此ノ點ニ付テハ相當
ナル心配ハ致シテ居リマスガ、御承知ノ如
ク此ノ事業ハ今日帝國ノ最モ切望致シテ居
リマス所ノ生産擴充ノ仕事ト不離ノ關係ニ
アル仕業デアリマスノデ、中央政府ニ於キ
マシテモ、即チ企畫院其ノ他ノ官廳ニ於キ
マシテモ、政策ノ一端ト致シマシテ將來ト
モ十分其ノ資材ノ獲得ニハ力ヲ致ス、是ハ
單ニ此ノ會社ノ資材ノミナラズ、樺太ニ於
ケル原料炭ノ產出ト云フ爲ニハ、他ノ民間
會社モ同様デゴザイマスガ、資材ノ割當ニ
ハ十分考慮スルト云フコトヲ實ハ言明致シ
テ居リマス、尙ホ森林ノ事業ニ致シマシテ
モ公用材、其ノ他直接時局ニ必要ナル資材
ニ鑛業用材、即チ生産擴充ニ必要ナル原料
ヲ生産致シマスル仕事デアリマスノデ、其
ノ點ニ付キマシテハ心配ハ致シテ居リマス
モノ、今日ノ所デ將來ヲ非常ニ悲觀スル
ルト云フ程ノコトハナイノデヤナイカト思
ツテ居リマス、又先程木材搬出ノ點御話
ガゴザイマシタガ、御承知ノヤウニ樺太ノ
木材ハ、從來ハ殆ンド全部河川ノ流送デヤ
ツテ居ルノデゴザイマシテ、相當奥地ノ資
材モ流送デ之ヲ伐リ出シテ居リマス、流送
費ニ相當ノ金ガ掛ル、又歩減リモ致シマス
ガ、今マデデモ相當ニヤツテ居リマスシ、將
來ハ先程申上ゲマシタヤウナ森林、土木竝
ニ軌道ト云フヤウナモノモ利用シタイ、又現
ニ計畫シテ工事ノ實行中デアリマス所ノ鐵道
ノ新線工事デゴザイマスガ、是ハ森林ノ爲
ニダケヤツテ居ルモノデハナイノデゴザイ
マシテ、他ノ各種ノ目的ノ爲ニヤツテ居リマ
スモノ、珍内カラ惠須取ニ至ル鐵道、敷香
カラ氣屯ニ至ル鐵道、斯ウ云フヤウナ鐵道ガ

完成致シマスナラバ、森林ノ開發ノ上ニ於キマシテモ相當ノ便益ヲ與ヘルモノデアラウト實ハ思ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ會社ノ前途ニ付キマシテハ御心配ハ御尤モデゴザイマスガ、只今ノ所政府ト致シマシテハ將來ヲ割合ニ樂觀致シテ居リマス、五年目ニナリマスルナラバ政府ノ持株ニ對シマシテモ多少ノ配當ハ出來ルノデハナイカ、即チ四分位ノ配當ガ出來ルノデハナイカト實ハ考ヘテ居リマス

尙ホ先程ノ御質問ノ中ニ現在ヤツテ居ル官行斫伐ハ便利ナ所バカリデ、其ノ計算デハ此ノ會社ノ取扱フベキ森林ノ造材ノ經費ニハナラスト云フヤウナ御意見ガゴザイマシタガ、現在ヤツテ居リマスル官行地域ハ隨分不便ナ所モヤツテ居リマス、便利ナ所ハ鐵道沿線モヤツテ居リマスガ、便利ナ所ハ寧ろ少イノデアリマシテ、不便ナ所ガ却テ多イノデゴザイマス、或ハ野頭デアルトカ、或ハ淺瀬デアルトカ、遠内、氣屯、名好、西柵丹ト云フヤウナ地方ハ非常ナ不便ナ地方デゴザイマス、此ノ地方モ只今官行斫伐デヤツテ居リマス、便利ナ地方トシテハ中野、保呂、珍内、小田洲ト云フ便利ナ所デ四箇所バカリ、不便ナ所ハ六箇所バカリ只今ヤツテ居リマス、斯様ナ實情デゴザイマスノデ、何卒御諒承願ヒマス

○稻田委員 現在樺太ニ於キマシテハ、山林ノ斫伐ハ主トシテ特殊ノ事業會社ヤ木材専門ノ會社ト、竝ニ只今ノ御話ノ如キ官行伐採等デアリマシタガ、最近ニ於キマシテハ軍部ノ方面ノ御用ノ木材業者ノ組合ニ依リマシテ盛ンニ軍用材ヲ伐採シテ居ルヤウニ思ヒマス、然ラバ將來本會社ガ成立致シマシタ曉ニ於キマシテ、是等ノ從來ノ伐採業

者、即チ現在ヤツテ居ル業者トノ關係ハドウ云フ風ニナルノデアリマスガ、民間業者ノ從來ノ仕事ヲ壓迫スルヤウナコトハナイデアリマセウカ、此ノ點ニ付キマシテノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○小河政府委員 御答ヘ申上ゲマス、御懸念御尤モデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ是ハ年限ハ限ラレテ居ルノデゴザイマスガ、公用材ノ供出ト云フコトハ、只今ヨリ來年度ハマダ増シテ參リマス、ソレカラ鑛業用材、即チ炭礦ニ使ヒマス用材ノ伐採モ、今マデヨリハ増シテ參リマス、隨テ此ノ會社ガ出來マシテ五百万石程度ノ立木ヲ造材致シマシテモ、左程業者ニハ影響ヲ與ヘナイト實ハ考ヘテ居リマスガ、尙ホ左様ナル懸念モアリマスノデ、此ノ會社ノヤリマス仕事ニ民間業者ヲ使ツテ行ツテ、非常ナル影響ノ來ルコトヲ防ギタイ、斯様ニ實ハ考ヘテ居リマス

○稻田委員 只今ノ長官ノ御答ヘニ依リマシテハ、民間業者ノ現在ヤツテ居ル伐採ニ影響ヲ與ヘヌト云フコトノ斷言ヲナサレヌヤウデアリマスガ、果シテ然ラバ、事ニ依ルト從來ノ業者ノ業域ニマデ此ノ會社ガ入込シテ來ルト云フ虞ナキニシモアラズト思フ、ソレ等ノ點ヲ今少シハツキリサセテ置イタガ宜イデハナイカト思フ、即チ從來ノ業者ノ取扱ツテ居リマス伐採業ハ、依然トシテ其ノ儘ニ今後モ繼續サセルト云フコトヲ言明サレタイ、即チ本案ニアル五百万石ト云フモノハ、從來ノモノトハ全然無關係デアアル、此ノ五百万石ト云フ量ハ今後新タニ樺太ノ木材ヲ増産サセル部類ノモノニ屬スルノデアルト云フ方針ヲハツキリサセラレナイナラバ、現在ノ業者ハ此ノ會社ノ

出現ニ依リマシテ非常ナル所ノ恐怖ノ念ヲ來スト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ今少シ責任アル御答ヘヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○小河政府委員 御答ヘ致シマス、此ノ會社ノ出現ニ依ツテ五百万石増伐致スモノデハナイノデゴザイマス、是ハハツキリ申上ゲテ置キタイト存ジマス、是ハ誤リガアルトイケマセヌ、増伐ハ、今日現在ノ蓄積量ガ相當ニ減ツテ居リマシテ、標準伐採量ハ決マツテ居リマスカラ、ソレ以上ノ伐採致シテ居リマスモノハ、既ニ契約ニ屬スル分、ソレカラ戰爭ヲ遂行致シマス爲ニ已ムヲ得ズ平常ノ施業案其ノ他ヲ構ツテ居ラレナイ關係上増伐ヲ致シマスル分、及ビ島内ノ炭鑛業ノ原料トシテ必要デアリマス分、是ハ何トシテモ増伐致サナケレバ相成リマセヌガ、其ノ外ハ斷然ト從來定マツテ居ル標準年伐量ヲ維持シテ行キタイ考ヘデアリマス、隨テ此ノ會社ガ出來タ爲ニ増伐ヲサセルト云フコトハ致サナイ積リデアリマス、今ノ限度ノ中デ自然ニ從來ヨリハ増加ラシテ參リマス數量ニ付テハ、此ノ會社ニサセル、併シナガラ今マデノ業者ト雖モ、御承知ノ如ク一昨々年マデハ業務ガ非常ニ減少ヲ致シテ參ツテ居ツタノデゴザイマス、今回公用材ノ問題ガ起ツテ、初メテ其ノ一部ヲモ救済スル意味ニ於キマシテ、公用材ノ造材組合ヲ作ラセマシテ、之ニ公用材ノ請負ヲサシテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ハ業者ト雖モ既ニ已ムヲ得ザルモノトシテ改メテ居ツタ事柄ニ屬スルノデゴザイマス、併シナガラ此ノ會社ノ出現ニ依ツテ現在ノ業者ニ失業者ヲ出サセルト云フヤウナコトハ、此ノ際成ベク避ケタイコトデアリマスノデ、其ノ意味ニ

於キマシテ此ノ會社ノ造材致シマス地區ノ一部ニ於キマシテ、從來ノ業者ヲ下請ニ利用スル、事務員其ノ他ハ此ノ會社ニ使フト云フヤウナコトニ依リマシテ、影響スル點ヲ成ベク少クシテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘデアリマス

○稻田委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ大體業者ト成立スル會社トノ關係ガ分リマシタガ、ドウカ從來ノ業者ニ餘リ影響ヲ與ヘヌヤウニ希望シテ置キタイト思ヒマス、而シテ此ノ五百万石ノ斫伐材ヲ現在ノ所如何様ニ其ノ用途ヲ配分サレル御計畫デアリマスカ、例ヘテ見ルナラバ鑛業用ニ大體幾ラ、或ハ公用材ニ大體幾ラ配分スルト云フ御案デモアルノデアリマセウカ

○小河政府委員 先程御注意ノ點ハ十分諒承致シマシタ、此ノ會社ニヤラセマス五百万石ノ配分ニ付キマシテハ、今マダ決メテ居リマセヌガ、現在ノ伐採豫定ト致シマシテハ、昭和十六年度ニ於キマシテハ、鑛業用ダゲデモ六百六十五万石伐ラナケレバナヌラ、ソレカラ公用材ニハ三百三十二万石伐ラナケレバナラスト云フヤウナ實情ニ相成ツテ居リマスノデ、其ノ中カラ配分ヲ致シマシテ此ノ會社ニヤラセタイト實ハ考ヘテ居リマス

○稻田委員 先程長官ハ樺太ニハ林政上ノ規定モアルカラシテ、五百万石ト云フモノハ増産ヲスル部類デハナイ、其ノ林政上ノ計畫ニ基イテ斫伐ヲシテ行クノダト云フ確固タル既定ノ方針ヲ發表ニナリマシタコトハ、洵ニ樺太ノ林政上ニ於テ私ハ至極結構ナコトデアルト思ヒマス、希クハ此ノ會社ガ出來マシタ以後ニ於キマシテ、此ノ林政上ノ從來ノ方針ヲ御破リニナラヌヤウニ希

望シテ置キマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ長官ノ確固不動ノ確信ノアル所ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○小河政府委員 御注意御尤モデゴザイマシテ、政府ト致シマシテハ標準年伐量ヲ嚴守シテ行ク決心デアリマス、唯先程モ御話致シマシタヤウニ、既契約ニ屬シテ居リマスル年伐採ノ權利ノ尙ホ存續シテ居リマス分、ソレカラ島内ノ鑛業用材ガ鑛業ガ殷賑ニヨツテ參リマシテ、此ノ資材ヲ年伐量ガ是ダケダカラト言ツテ伐ツテヤラナイ譯ニハ行カナイ問題デゴザイマス、島内ノ産業ノ振興ノ爲ニハ必要ナ最小限度ドウシテモ伐採ヲシナケレバ相成ラスト思ツテ居リマス、ソレカラ戰爭ヲ遂行致シマス爲ニ必要デア

ヲ致シマシテ、標準年伐量ヲ改メテ定メタイト思ヒマス、其ノ年伐量ガ只今定メテ居リマス一千三百六十八万石デアルカ、或ハ是ヨリカ多少餘計ニナルカ、或ハ減ルカト云フ點ハ其ノ際ニ今一應再檢討シナイト定マラス問題ダト思ツテ居リマス、併シナガラ技術上ノ定マレル標準年伐量ト云フモノハ將來トモ維持シテ行キタイ覺悟デ居リマス

○稻田委員 之ヲ以テ木材ニ關スル質問ハ止メマス

次ハ政府ニ於キマシテハ本會社ノ事業ノ一ト致シマシテ造林事業ヲヤラントシテ居ラレマス、併シナガラ樺太ニ於ケル造林事業ハ氣候風土、交通其ノ他カラ致シマシテ、内地ノ植林事業トハ趣キヲ異ニスルデハナイカト思ヒマス、手入其ノ他色々事情カラ致シマシテ、木ノ成長ト造林事業ノ成功ト云フモノハ内地、樺太ニ於テ甚シキ相違ガアルデハナイカト思ヒマス、之ヲ内地ノ如クニ簡單ニ見積ラレテ居ルデハアルマイカトモ思ヒマスルガ、此ノ點ハ特ニハツキ

リ素人ニモ分ルヤウナ御説明ガ願ヒタイト思ヒマス、仍テ政府ニ御尋ネ致シマスルガ、造林問題ニ關シマシテ過去ニ於テ果シテ如何ナル研究ト經驗トガアリマスルカ、只今資料ヲ配付シテ居ラレマスルガ、私ハマダ前申シマスルヤウニ精讀致シテ居リマセス

ノデ、此ノ際簡單ニ御説明願ヒタイト思ヒマス、尙ホマサカ木材ヲ澤山伐ルカラシテ島民ガ非常ニ不安ヲ感ズルカラ、マア其ノ意味ニ於テ一方ニ於テハ此ノ會社ガ造林ヲスルノダト云フヤウナ島民喜バセノ爲ノ造林ニ陷ラスヤウニ一ツハツキシシタ御説明ガ願ヒタイト思フノデアリマス

○小河政府委員 御答ヘヲ申上ゲマス、仰セノ如ク内地ト樺太ハ木材ノ成長率ガ非常ニ違ヒマスルノデ、内地ノヤウナ計畫ハ出來ナイノデゴザイマス、隨テ人工造林ニ於キマシテハ一寸御答ヘハ致シテアリマス

ルガ、グイ松、落葉松ニ於キマシテハ四十五年ヲ主伐期ト致シテ居リマス、蝦夷、椴ニ於キマシテハ九十年ヲ主伐期ト致シテ計算ヲ致シテ居リマス、隨テ或ハ内地ノ杉デアリマスト四十年三十年ト云フモノヲ伐期ト致シテ居リマスシ、北海道デアリマスト椴、蝦夷モ七十年位ヲ伐期ト致シテ居リマスガ、ソレヨリモ餘程年數ヲ要スルモノトシテノ計算ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、併シ現在ヤツテ居リマス樺太廳ノ伐採方針ト致シマシテハ、皆伐ハ少ナウゴザイマシテ擇伐ヲ主トシテヤツテ居リマスガ、擇伐ニ於キマシテハ大體二十年ヲ回歸率ト致シテ擇伐ヲ致シテ居リマス

○小河政府委員 造林ノ問題ニ關シマシテハ、御尋ネノ如ク親身ヲ入レテ十分ヤリタイト思ヒマス、御趣旨ニ副フヤウニ努メル覺悟デゴザイマス

ソレカラ農業ニ關シマシテノ御心配ハ御尤モデゴザイマシテ、熱及ビ光ニ惠マレザル地方ノ農業デアリマスルノデ、他ノ地方ト異ナツテ、栽培ノ種目其ノ他ニ制約ヲ見ルト云フコトハ全く同感デゴザイマス、唯今マデノ試驗場ナリ何ナリノ試驗ノ結果ニ依リマスルト、所謂夏作物ト申シマスルカ、麥類及ビ豆類、甜菜類及ビ牧草類ニ於キマシテハ十分ナル成績ヲ擧ゲ得ルト云フ確信ヲ得テ居ル次第デアリマス、又現在樺太ニ於ケル農家ノ實情カラ見マシテモ、此ノ方面ハ十分ヤリ遂ゲ得ルト云フ確信ヲ持ツテ居ル次第デアリマスルノデ、茲ニ此ノ計畫ヲ出シタ譯デゴザイマシテ、此ノ會社ハ説明ニモ申シテアリマスガ如ク、主トシテ麥、小麥、燕麥、豌豆其ノ他ノ豆類、「ビート」、馬鈴薯及ビ「クローバー」「チモシー」等ノ牧草類

次ニ本會社ハ、食糧供給ノ一助ニ資スル爲ニ機械化農場ヲ經營シテ、雜穀ヲ年産額三十万石ノ生産ヲ見積ツテ居ラレヤウデアリマスガ、是モ今申上ゲマスル造林ト同ジヤウニ、内地トハ違ヒマシテ、農業ノ經營ト云フコトニ付テハ氣候、風土其ノ他ノ關係上ヨリ致シマシテ、造林事業ヨリモ

尙ホ一層ノ難問題デハアルマイカト思ヒマスルガ、政府ハ果シテ之ニ對シテ自信アリヤ否ヤ、現在食糧供給ノ問題ガ非常ニ喧シイニ依ツテ、此ノ會社ニ食糧問題ノ事業ヲ置クコトガ大變見榮ガ宜シイト云フヤウナ意味ニ於テ、マサカヤツテ居ラレノデハアリマスマイケレドモ、私共ガ考ヘマスル所デハ、樺太ニ於テ斯ウシタ大農業ヲ完成ナサルコトハ餘程ノ確信ガナクテハ出來

此ノ大ナル確信アリヤ否ヤ、既往ニ於テノ經驗ナリ研究アリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ、十二分ノ御所見ガ承リタイト思フノデアリマス

等ヲ栽培致シマシテ、サウシテ尙ホ之ニ對

スル安全ヲ期スル意味ニ於キマシテ、畑作

ニ全力ヲ置クニアラズシテ、一部家畜ヲ飼

育致シマシテ、畑作カラ上ツタモノヲ家畜

ノ飼料ニシテ、サウシテ畜產品ト併セテ以

テ經營ガ行ク、斯ウ云フヤウナ仕組ニ致シ

タイト思ツテ計畫ヲ致シテ居ルヤウナ次第

デゴザイマス

○**稲田委員** 只今御説明ニ依リマス、是

ニモ確信ガアル、是ニモ確信ガアルト云フ、

唯確信ガアルト云フ御説明デアリマスガ、

樺太廳ニ於テ從來ノ經驗ヨリ出ヅル數字ガ

アツテサウ云フ風ナ確信ノ御説明ニナツテ

居ルノデアリマスガ、其ノ確信ト云フコト

ニ付キマシテノ御説明ヲ願ヒタイ

○**小河政府委員** 御答ヘ致シマス、今マデ

ノ試驗ノ結果ニ依リマス、麥類デアリマス

ナラバ反當一石四、五斗、「ビート」デアリマ

スト反當三千斤ノ收穫ヲ擧ゲ得ルト云フ

コトハサウ至難デハナイノデアリマス、唯

昨年度ハ非常ナ不順ノ年デアリマシタノデ

「ビート」ニ於キマシテハ千五百斤ノ反當收

穫ニナツテ居リマスガ、是トモ北海道ノ千

三百斤平均ト云フノニ比ベマス、成績良好

ノ方デアリマス、隨テ雜穀類ノ收穫ニ於キ

マシテハ北海道ニ負ケナイ成績ヲ擧ゲルコ

トハ、今マデノ試驗ノ結果確信ガアルノデ

ゴザイマス、隨テ樺太ニ成立チマス農業ハ、

秋作物ヲ除キマシタ夏作物ノ部分ニ於キマ

シテハ、馬鈴薯ニ於キマシテモ、何ニ致シ

マシテモ十分ナル試驗ノ結果ヲ持ツテ居ル

次第デアリマス、架空ノ確信ダケヲ申上ゲ

ル次第デハゴザイマセス

○**稲田委員** 左様ナ從來ノ御經驗ヲ基礎ト

シテヤルト云フノナラバ、農業ノ事業ニ於

キマシテ大體ニ於テ承服スル次第デアリマ

ス

次ニ本案ノ役員ニ付キマシテ御伺ヒ致シ

マスガ、原案ニ依リマスレバ、役員ハ監事

以外ノモノハ皆主務大臣ノ任命ト云フコト

ニナツテ居リマスガ、其ノ理由ハ果シテ如

何様ナ理由デアリマスガ、大臣ニ代ツテ次

官ヨリ御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○**北島政府委員** 只今御尋ネノ役員ノコト

ハ、法案ノ第十條ニ規定シテ居リマスガ、

社長及ビ副社長ハ主務大臣ガ任命スルト云

フコトニナツテ居リマシテ、理事ハ株主總

會ニ於テ選舉シタル二倍ノ候補者中ヨリ主

務大臣ガ之ヲ任命スル、監事ハ株主總會デ

之ヲ選任スル譯デアリマシテ、政府ト致シ

マシテ干涉シナイト云フ立場ニアリマス、

是ハ外ノ斯ウ云フ種類ノ國策會社ノ例ヲ取

ツタノデゴザイマスガ、丁度ノ確ナ例ハ東

拓ノ例ガ殆ド之ニ該當致シテ居リマス

○**稲田委員** 只今理由ト致シマシテハ東拓

ガ然リデアルカラト云フコトノ御説明ガア

リマシタガ、東拓ハ東拓ト致シマシテ、最

近續出致シマスル政府關係ノ國策會社ニ於

テ、大多數ノ場合ニ於テ、會社ガ出來マス

ルト、從來其ノ方面ノ事業ニ比較的關係ノ

アラレマシタ官吏ノ方トカ、或ハ官吏ノ豫

備、後備ニ居ラレラレオ方ト云フヤウナ人ガ、

惡ク言ヘバ天降リノニ社長或ハ副社長其ノ

他ノ重役ニナラレラレコトガ多イノデアリマ

スガ、其ノ會社ノ業績ヲ通覽致シマスノニ、

餘リソレガ經營上良イト云フコトハ、吾々

カラ見マシテモ、果シテドウカト思ハレル

筋ガ往々ニシテアルノデアリマス、良イ場合

モアリマセウケレドモ、多クノ場合ニ於テ

能率ノ上ラヌ場合、弊害ノ起ル場合ガナイ

トモ限ラヌト私等ハ思フ、是等ノ點ニ付キ

マシテ、如何様ニ御考ヘニナツテ居ルノデ

アリマスガ、唯東拓會社ガ爾カノデア

カラ此ノ會社モ爾カノニスルト云フコト

ダケデハ、吾々ハ納得ガ出來ナイ、仍テ私

ガ今御尋ネ致シマシタヤウナ意味ニ於キマ

シテ、決シテ弊害ガナイ、將來サウ云フ

風ナ官吏ヲ此ノ會社ノ重役ニ任命ニナルト

云フ風ナ御考ヘガアルカナイカト云フ風ナ

意味ニ於キマシテノ御方針ガ承リタイと思

ヒマス

○**北島政府委員** 先程御答ヘ致シマシタノ

ハ、決シテ是ガ新例ダカラト云フ意味デナ

ク、他ノ特殊會社ガ大體斯ウ云フ建前ニナ

ツテ居リマス、丁度東拓ハ其ノ儘ソツクリ

似テ居ルノデ、其ノ意味デ御説明ヲ申上ゲタ

次第デアリマスガ、或ハ言葉ガ不十分デア

リマシタカトモ思ヒマス、只今御尋ネハ社長副

社長其ノ他ノ役員ノ中ニ將來役人ヲ持ツテ

行クカドウカト云フ意味ノ御尋ネカト思ヒ

マスガ、是ハ何レニ致シマシテモマダ會社ノ

成立ガ八、九箇月先ノコトデゴザイマス、

目下ノ所其處マデ恐ラク大臣モマダ御考

ヘニナツテ居ラレナイカト思ヒマス、私共

同ツタコトモゴザイマセヌシ、御相談シタ

コトモゴザイマセヌガ、此ノ際一般的ニ役

人上リハ絕對ニイカヌカラ、サウ云フ者ハ

持ツテ行カナイト云フコトモ、私トシテハ

申シ兼ねマスガ、ト云ツテ又決シテ役人カ

ラ採ルト云フ意味デ申上ゲル次第デハゴザ

イマセヌ、ドチラニシマシテモ斯ウ云フ方

面ノ事業ニ十分ノ適任者ヲ廣ク物色スルト

云フヤウナ見地デ、社長ナリ其ノ外ノ

役員ヲ任命スベキモノダラウト私ハ考ヘテ

居リマス、外ノ省ノ關係ニモ特殊會社ハ澤

山ゴザイマスガ、吾々現ニ拓務省デ監督致

シテ居リマス會社、例ヘバ東拓ニシマシテ

モ或ハ臺灣拓殖、南洋拓殖ト云フヤウナ會

社ガゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通りニ、

社長ニシマシテモ或ハ總裁ニ致シマシテモ、

全部一人モマダ役人ノ人ハゴザイマセヌ、

目下ノ所ハ寧ロ民間方面ノ出身バカリデ占

メテ居ルヤウナ狀態ニ相成ツテ居リマス、

併シ今度ノ會社ニハドウ云フ方面カラ參リ

マスルカ、結局是ハ人ノ問題デアリマシテ、

役人必ズシモ良イト云フ譯デモゴザイマセ

ヌシ、又民間ノ人ガ斯ウ云フ方面ニ適任デ

アルト云フコトモ一概ニ申ス譯ニモ參リマ

セヌ、殊ニ斯ウ云フ特殊ノ事業デモアリマ

スルシ、場合ニ依ツテハ國策トシテ營利ヲ

離レテ仕事ヲシナケレバナラヌヤウナ事情

ノ場合モアルカト思ヒマス、強チ民間出身

ノ人ノミカラ物色スルト云フヨリハ、寧ロ

廣ク適材ヲ求メルト云フヤウナ見地ニ立ツ

テ考慮スベキデハナイカト、斯様ニ考ヘテ

居リマス

○**沖島委員長** 稲田君、一寸申上ゲマスガ、

アナタノ質問ハマダアリマスガ

○**稲田委員** モウ濟ミマシタ——只今ノ御

説明ニ依リマシテ大體諒承致シマシタ、私

モ次官ト同様ナ意見デアリマシテ、官吏デ

アラウガ、民間人デアラウガ、其ノ事業ノ運

營ニ當リマシテ、最モ適材ヲ得ルコトガ、

其ノ事業ニ於テ最モ幸福デアルト思フ、其

ノ意味ニ於キマシテ、強チソレヲ限定スル

ト云フコトデハナイノデアリマスガ、冀ク

バドウカ現在ノ拓務省ノ監督ナサツテ居ル

多クノ會社ガ然リデアリマスルナラバ、此

ノ會社ニ於キマシテモ、民間ノ「エキスパ

ー」ト御重用ナサレマシテ、重要ナル地位ニ

据エラレマシテ、本業務ノ將來益、隆盛ニ向
ハシコトヲ希望致シマス者デアリマス、私
ハ右御伺ヒ致シタコトニ依リマシテ大體諒
承致シマシタカラ、本案ニ付テノ質疑ヲ終
リタイト思ヒマス、長々質問致シマシテ、
政府委員並ニ各委員諸君ニ對シマシテ時間
ヲ潰シマシタコトヲ感謝致シマシテ、私ノ
質問ヲ打切ル次第デアリマス

○小河政府委員 一寸先程ノ御答ヘヲ訂正
致シテ置キマス、小麥ニ於テ一石五斗申
シマシタガ、今マデノ結果ハ小麥ハ一石

二斗デゴザイマス、其ノ數字ト他ノ數字モ
併セテ此ノ際申上ゲテ置イタ方宜イト思
ヒマスカラ申上ゲマスガ、燕麥ガ三石、蕎
麥ガ一石二斗、豌豆ガ一石五斗、蠶豆一石

四斗、馬鈴薯ガ三百六十貫、甜菜ガ三千斤、
「スエーデン」蕪ガ一千貫、「チモシー」ガ百
三十貫、「クロバー」ガ七百貫ト云フヤウナ
反當收量デアリマスガ、其ノ際申上ゲマシ

タコトハ、是ダケノ生産ガ可能ダト云フコ
トデアリマシテ、此ノ農業ガ採算ガ合ツテ
利益ノ出ル農業デアルト云フ趣旨デハナイ

ノデゴザイマシテ、或ハ農業部門ニ於キマ
シテハ、將來トモ多少ノ損失ヲ見ルカモ知
レマセヌガ、他ノ部門ノ利益ヲ以テ之ヲ「カ

ヴァー」ヲ致シマシテ、ドウシテモ島内ニ於
テ食糧ノ一部ヲ自給スルヤウニ導カナケレ
バナラスト云フ趣旨ヲ以チマシテ、本會社

ニ農業ヲ經營セシメヨウ、斯ウ云フ趣旨デ
ゴザイマス、ドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○松尾(孝)委員 議事進行デ一寸簡單
ニ——私政府ニ御願ヒガアリマスガ、此ノ會
社ガ事業ヲ着手セントスル南名好炭礦ニ關ス

ル詳細ナル御調査ガアルト思ヒマスガ、ソ
レガアリマシタラ一ツ御提出ヲ願ヒタイト
思フノデアリマス、今申シマシタ炭礦ノ地
質トカ色々サウ云ツタヤウナ調査、此ノ中
ニアレバ結構デス、ソレカラ炭礦ノ事業ノ
計畫、目論見ト云ツタヤウナモノ、ソレカ
ラ石炭ノ積込ニ關スル港灣ノ設備トカ、サ
ウ云ツタヤウナモノノ計畫ガアレバ、御示
シ願ヒタイト思ヒマス

○服部(英)委員 只今ノ補足ノ御答辯ニ關
聯シタコトデ伺ヒタイ

○沖島委員 簡單ナラ許シマス

○服部(英)委員 農業ノコトニ付テ大體ニ於
テ北海道ヨリモ樺太ニ於テハ收穫ガアルト
云フコトハ承リマシタガ、肥料ノ關係ノ説

明ガナイ、肥料ハ何モナクテモ出來ルト云
フ御話デスカ、肥料ト收穫ノ關係ヲ眺メ合
セテ初メテ利益ガアルナイト云フコトガ分

ルト思フ、唯收穫ノミデハ私共分リマセヌ
○小河政府委員 是ハ無論肥料ナシデ出來
ルト云フ趣旨デハナイノデアリマシテ、適

量ノ肥料ヲ加フルコトニ依ツテ生産ヲ擧ゲ
得ルノデアリマス、北海道ニ於テノ反當ノ
肥料ハドレ程要ルト云フコトモ伺ヒタイ

○小河政府委員 ソレハ私ハ存ジマセヌガ、
大體同様ノ肥料デ宜イト思ヒマス、唯樺太
ノ土質ガドチラカト申シマスルト「ボドゾー

ル」地質ニ屬シテ居リマスノデ、之ニ對シテ
石灰ナリ何ナリニ依リマシテ中和サセナケ
レバナラス、其ノ中和サセマスル經費ハ總

テ此ノ計畫ニハ盛込ンデゴイマス

先程ノ松尾委員カラノ御要求ノ南名好ノ
炭田ノ概要ヘ申上ゲラレマスガ、埋藏數量其
ノ他ニ關シマシテノ數字ノコトハ、總デ總

動員機密竝ニ軍機保護法デ發表ヲ差止めラ
レテ居リマシテ、申上ゲルコトハ出來ヌノデア
リマス、炭田ノ大體ノ狀況ハ先程口頭デ申

上ゲマシタガ、相當ニ大キイ露頭及ビ炭脈
ガ長距離ニ亙ツテ繼續ヲ致シテ、其ノ炭質

モ良好デ、大體七千「カロリー」以上ノ發熱
量ヲ持つテ居ル炭ガアルト申シテ居リマス、

海岸ノ積込シハ取敢ズハ是モ先程一寸御説
明申上ゲマシタガ、棧橋ニ依リマシテ舳舳

役ニ依リ本船ニ積込ム、斯ウ云フ計畫ニナ
ツテ居リマス、併シ將來ノ問題ト致シマシ

テハ、内幌、南名好間ニ鐵道ヲ建設致シマシ
テ、本斗ノ港ニ持つテ行ツテ、本斗ノ石炭

積込ミ施設ヲ利用シテ、是ガ積込シヲ行フ
計畫デアリマス

○松浦(周)委員 一寸ソレニ關聯シテ伺ヒ
タイ、今ノ長官ノ農産ノコトニ付テ、北海道
ヨリモ良イ、總テ之ニ對ス確信ガアルト云

フコトニ付テ、私ノ質問ノ番デハアリマセ
ヌガ、長官ノ御確信ヲ伺ツテ置キタイト思

ヒマス、マダ資料ノ全體ヲ見テ居リマセヌ、
又私ノ要求シマシタ農業方面ノ資料ノ全部

ガ來テ居リマセヌ、併シ只今御發表ニナリ
マシタ反當收穫量、是ハ勿論全島平均ノモ

ノデアリマセウ、今日ノ食糧難ノ時ニ、斯
様ナ多收穫ノ平均率ヲ持つ土地ノ發見セラ

レマシタコトハ、國家ノ爲ニ非常ニ慶賀ニ
堪ヘナイコトデアリマス、斯様ナ肥沃ナル

土地ヲ持つテ居ル樺太ガ、從來ノ理事者ガ
統治ノ方法ヲ誤ツタ爲ニ、現在ノヤウナ樺

太農業ノ沈滞ヲサシテ居ルコトハ甚ダ遺憾
ニ堪ヘマセヌ、併シ只今ノ長官ノ意見ヲ色

色伺ヒマス、非常ナ確信ヲ持つテ居ラレ
ル、北海道ヨリ以上ノ成績ヲ擧ゲ得ルト云

フ御言明デゴザイマスカラ、超人的ノ長官
ガ此處ニ赴任セラレマシテ、サウシテ農業

開拓ヲオヤリニナリマスコトハ、洵ニ食糧
政策ノ上ニ慶賀ニ堪ヘマセヌ、過去ノ統計

ヲ見マスルト、過去十箇年ノ茲ニ御示シニ
ナリマシタ統計ヲ見ルト、農業人口ハ段々

減ツテ居ル、殊ニ昨年ノ如キハ八千七百戸
ニ減ジテ居ル、一番多カツタ時ハ幾ラデア

ルカト云フト、昭和十年ノ一万一千六百
戸、是ガ一番多イノデアリマス、サウシテ

今後ノ作付反別ノ増加量ノ資料ヲ要求致シ
マシタモノニ依リマス、昭和十六年度ハ

三万町歩トアリマス、其ノ後昭和二十五年
ニハ五万五千町歩ニ増加スルト云フコト

デ、十六年カラ二十五年マデノ九年ノ間ニ
僅カニ二万五千町歩増加スルダケデアリマ

ス、斯ウ云フコトト今ノ御話トハ全ク相容
レナイモノガアル、斯様ナ多收穫ヲ持つ土

地ニ農業經營ヲ獎勵シテ僅ニ十年間ニ二万
五千町歩ヨリ開拓出來ナイト云フコトニナ

ルト、是ハ北海道ヨリ良イト云フ統計ガ現
ハレテ居ルナラバ、出來ナイト云フコトハ

其ノ手腕ガ惡イト云フコトニ歸着スルノデ
アリマス、私ハ農業ニ對スル否、樺太統治

ニ對スル超人的ナ長官ノ統治ニ對スル「イデ
オロギー」ト申シマスルカ、所謂樺太統治ノ

指導原理ト申シマスルカ、斯様ナ統計ノ上
ニ立つテ居ルノデスケレドモ、超人的ナ仕

事ヲスルト云フ其ノ長官ノ御意思ヲ此ノ機
會ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○小河政府委員 非常ニムヅカシイ話デゴ
ザイマスガ、過去ノ農家戸數ノ實績等カラ

考ヘテ見テ、却テ減ツテ居ルノデハナイ
カ、斯ウ云フ御尋ネノヤウデゴザイマスル

ガ、ソレハ只今御手許ニ差上ゲマシタ表ニ
示シテアル通りニ、減少ヲ二三年間見テ

居リマス、此ノ原因ハ島内ニ於ケル他ノ企
業、特ニ是ハ石炭業デゴザイマスルガ、石炭

業ノ盛シニナリマシタ結果、勞力ヲ其ノ方

ニ奪ハレマシテ、農業者ガ離農ヲ致シタ
結果ニ基クノデゴザイマシテ、甚ダ遺憾ニ
思ツテ居リマス、而シテソシナ良イ所ナラ
モツト人ガドシ／＼行ク筈デハナイカ、斯
ウ云フ御尋ネデアリマシタガ、全ク其ノ通
リダト思フノデゴザイマスルガ、御承知ノ
如ク日本人ハ米ト云フモノニ對スル執着ガ
非常ニアルノデゴザイマス、一切ノ畑作物
ノ收穫ハ相當アリマシテモ、米ノ出來ヌ所
ニハドウモ人ノ落付キガ惡イ、是ハ北海道
ニ於キマシテモ米作地方ト米ノ出來ナイ地
方トノ間ニ非常ナ懸隔ノアリマスルコトハ
事實デアリマス、而モ日本人ガ特ニ米ニ對
スル執着ガ強イ結果ダト思ヒマス、而シテ
樺太ハ北海道ヨリ尙ホ北ニアリマスノデ、
農業者ヲ入レマスルニ付テ非常ニムヅカシ
イノデアリマス、是ハ單ニ採算如何ノ問題
デナクシテ、郷里カラ離ナレル距離ノ遠近
ト云フヤウナ凡ル問題デ、斯ウ云フ移民
ヲ入レマスルコトノ難易ト云フコトガ生ジテ
來ルノデゴザイマス、其ノ意味ニ於キマシ
テ樺太ノ開發ガ非常ニ遅レテ居ツタト云フ
コトモ亦是レ遺憾ノ一ツデアリマス、隨テ
將來ノ開發計畫ガ十箇年間ニ二万町歩ハ少
イデハナイカト云フ御尋ネデアリマシタマ
ガ、十箇年間ニ二万町歩ノ開發ト云フコト
ハ決シテ少クナイノデゴザイマシテ、過去
三十五年ノ統治ニ於キマシテ三万町歩ノ作
付ヲ見テ居ル、之ヲ十年間ニ大體ソレニ近
イ二万五千町歩ノ開發シヨウト云フコト
ハ、是ハ非常ニ骨ノ折レルコトデアアルノデ
ゴザイマス、隨テ此ノ會社ノ計畫ト致シマ
シテモ、勞力ヲ澤山要シナイ所ノ機械化農
場ト云フモノニ於テ、農業ヲ經營致シタイ
ト云フコトノ計畫ヲ致シマシタ理由モ、

移民ヲ入レルコトガ中々ムヅカシイコトデ
アルカラト云フコトニ原因致シテ居ルノデ
アリマス、ドウゾ御諒承ヲ願ヒマス
○沖島委員長 杉山元治郎君、午後ニ引續
イテ御願ヒシマスカ

○杉山委員 僅カ十分デスカラ午後ニ引續
キ願ヒタイト思ヒマス、戴キマシタ本會社
ノ參考資料ヲ見マス、經濟開發ノ要點ヲ
石炭、木材竝ニ食糧、斯ウ云フ三ツニ重點
ヲ置イテ居ルヤウデゴザイマス、樺太ノ產
業ノ生産表ト云フモノヲ大體拜見致シマス
ト、一番大キナモノハ工業產物ニナリ、其ノ
次ガ林產物、第三ガ石炭其ノ他ノ礦產物、
第四ガ水產物、斯ウ云フヤウナ順序ニナツ
テ居ルヤウデアリマスガ、本會社ハ此ノ目
論見書ニアリマスヤウニ、唯陸地ノ經濟開
發ト云フコトヲ重點ト致シテ居ルノデアツ
テ、此ノ間田代サンモ御話ニナツテ居リマ
シタガ、水面ノ開發ト云フコトハ此ノ會社
ノヤラナイ所デアリマス、ソコデ先ヅ第一
ニ此ノ點ヲ御尋ネシタイト思ヒマス

○小河政府委員 此ノ前モ御答ヘ致シタ
思ヒマスガ、此ノ會社ガヤラナイト云フ仕
事デハナイノデアリマス、御承知ノ如ク只
今マデノ樺太ノ水產業ハ、主トシテソレ程
多額ノ資金ヲ以テヤル所ノ水產業ニアラズ
シテ、沿岸ノ漁業組合デヤツテ居リマス漁
業ガ主デゴザイマス、之ヲ若シ此ノ會社ガ
立入リマス、沿岸漁業ノ仕事ニ影響ヲ及
ボスコトモゴザイマスノデ、此ノ點ハ只今
樺太共同漁業會社ト云フモノヲ組織セシメ
マシテ、サウシテ一元のニ此ノ指導開發ヲ
サシテ居ルノデアリマス、其ノ方ニ委ネテ
沿岸漁業ハヤリタイ、將來沖合ノ遠洋漁業
竝ニ沿岸漁業デ漁獲致シマシタモノノ加工

業ト云フヤウナモノノ、多額ノ資金ノ固定
ヲ要スル仕事ニナリマス、其ノ際ハ此ノ
會社ノ傍系ノ會社ヲ以テ投資ヲ致シマシテ、
是ガ開發ニ當ツテ行ク、實ハ斯様ニ考ヘテ
居リマス

○杉山委員 今稻田君カラモ伺ツテ居リマ
シタガ、本會社ノ農場經營デアリマスガ、
勞力不足ノ際デアリマスシ、又移民ガ困難
デアルカラ、機械化農場ニスルノダト云フ
點ハ能ク分ルノデアリマスガ、其ノ農場ハ
直營農場ニナルノデアリマスガ、或ハ此ノ
農場ノ中ニハ若干ト云ヒマスガ、或ハ全部
ト申シマスガ、移民或ハ小作農ト云フヤウ
ナモノヲ御入レニナルノデアリマスカ

○小河政府委員 此ノ計畫ハ直營農場ノ計
畫ニ致シテ居リマス、但シ是ハマダ遠イ將
來ノ問題デゴザイマスノデ、言明ノ限リデ
ハゴザイマセスガ、此ノ農場ノ經營ガ成功致
シマシタ曉ニハ、其處ニ從事致シテ居リマ
ス者ニ、分讓ナリ何ナリシテ定着セシメマ
シテ、又新タナ所ヲ開發スルト云フヤウニ
進ムノガ、宜イノデハナイカト考ヘテ居リ
マスガ、ソレハマダ此處デ申上ゲルマデニ、
熟シタ問題デハナイノデアリマス

○杉山委員 ソレデ直營農場ト云フコトガ
大體分リマシタガ、先程カラモ色々御話ガ
アリマシタヤウニ、土地ハ相當豐沃デアツ
テ收穫量モアル、ニモ拘ラズ農民ハ資料ニ
依ツテ見マス、減ツテ來タ、ソレハ他ノ軍
事產業ニ依リ、勞働力ガ他ノ方ニ吸收サレ
タ結果デアル、是ハ内地ニ於テモ見マスル
ノデ、已ムヲ得ナイコトダト思フノデアリ
マスガ、私ハ滿洲ノ移民ト對照的ニ考ヘテ
見テ、樺太ノ内地移民ト云フモノモ、ヤハ
リソレト同等ニ見テ重要性ガアルノデハナ

イカ、寧ロ樺太廳ハ此ノ農業移民ニ付テ、
モツト積極的ニナスベキデハナイカ、斯ウ
云フヤウニ考ヘルノデアリマス、樺太ノ移
民獎勵ノ規定ナドヲ見マシテモ、ドウモ滿
洲開拓移民ノ獎勵ノ條件ト比較シテ見マス
ト、其ノ點ハ非常ニ惡イヤウニ考ヘルノデ
アリマスガ、私ハ同ジ拓務省ガ、而モ地理
的ニ考ヘテ見テ、ソノ聯ト接觸シテ居リ、
殊ニ内地デアル樺太拓殖民ニ對シテハ、寧
ロ同等以上ニ扱ツテ、サウシテ其ノ土地ニ
定着サスベキデハナイカト云フヤウニ考ヘ
ルノデアリマスガ、如何デスカ

○小河政府委員 全ク杉山委員ノ御意見ト
同様ノ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、
樺太ニ積極的ニモウ少シ移民ヲ入レル必要
ハアルト考ヘテ居リマスガ、此ノ會社ガ出
來マシテモ、既存ノ今マデヤツテ居リマシ
タ計畫通りニ移民ヲ入レマスコトハ、其ノ
計畫ヲ繼續致シテ行ク積リデアリマス、是
ハ此ノ會社ノ直營致シマス農場以外ノ所ニ
入レタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、併
シナガラ其ノ農民ニ對スル助成ガ不足デハ
ナイカト言ハレマスル、十分デアルトハ
實ハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、大體十
町歩ノ土地ヲヤルモノト致シマシテ、初年
度ニ二町歩程開發ラシテ渡ス、其ノ外家屋
ヲ建築致シマス際ニ、家屋ニ對スル助成、
農具、家畜ニ對スル多少ノ助成ハアリマス
ルガ、滿洲移民ニ對スル助成ヨリモ不足致シ
テ居リマス、是ハ以前カラアツタモノハ、以
前ノ決メガ中々變ヘニクイノデゴザイマシ
テ、後カラ出來タモノハ却テ有利ニナツテ
居ルト云フコトハ、ドウモ甚ダ遺憾デゴザ
イマスガ、今日此ノ際ドウスウト云フコト
ハ已ムヲ得スト思ヒマス、併シ將來トモ是

第六類第八號 樺太開發株式會社法案委員會議錄 第三回 昭和十六年二月六日

一七

ガ指導ノ方面ニハモット力ヲ入レマシテ、技術員其ノ外ノ指導者、或ハ慰安設備、共同施設ニ對スル助成等モ考ヘテ、成ベク今後トモ定着シ得ルヤウニ、助成ノ程度ハ増額シテ行キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○杉山委員 本會社ハ滿洲ニ於ケル滿拓公社ノヤウナ關係デ、移民ヲ將來ニ於テ保護獎勵シテ行クト云フコトヲ、オヤリニナル意圖ハナイノデアリマセウカ、ソレカラ此ノ際ニ尙ホ伺ツテ置キタイノハ、樺太ノ移民ノ中ニ從來指定移民ト云フモノガアツタ、ソレガ廢止サレタノハドウ云フ理由デ廢止サレタカ、又集團移民ヲ行ツテ居ルガ、其ノ集團移民ノ成績モ資料ニ依ツテ拜見致シマス、餘リ良好デハナイ、マア七〇%殘留シテ居ルト云フノダカラ、或ハ是デモ成功ダト云フナラバ、サウ云フコトモ言ヘヌコトハナイカモ知レマセヌガ、集團移民ガ七〇%シカ留マラナカツタ其ノ大キナ理由ガ、何處ニ存シテ居ルカト云フヤウナ點ガ御分リニナルナラバ、此ノ際伺ヒタイと思フノデアリマス

○小河政府委員 今マデノ成績ハ餘リ十分デハナイノデゴザイマス、指定移民ト云フノハ、之ヲ集團移民ニ變ヘタ譯デゴザイマス、其ノ集團移民ノ七十何「パーセント」留ツテ、アトノ三十「パーセント」減ジタ理由ト云フモノハ、ドウモ此處デ私申上ゲル程ハツキリ致シテ居リマセヌガ、或ハ其ノ入レル土地ガ餘リ良クナカツタ、此ノ中デ御覽ニナリマス喜美内ト云フ所ハ土質ノ餘リ良クナイ所デゴザイマス、是ガ他ノ良イ所ニ變ツテ行ツタト云フノガアルノデハナイカト思ツテ居リマス、ソレカラ一部ハ他ノ

勞働者ニ轉業ヲ致シタト云フ者ガ出タノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ一番最初ニ御尋ネニナリマシタ本會社ニ滿拓公社ノヤウナ役目ヲサセル積リカドウカト云フ御尋ネデアツタと思ヒマスガ、今ノ所デハ左様ナル考ヘヲ實ハ持ツテ居ラナイノデアリマス、私モ資金供給其ノ外ノ機關ガ必要ダトハ實ハ思ツテ居リマス、併シ今ノ所ハ一應北海道拓殖銀行ガ此ノ方面ノ金融ヲ致ス建前ニ相成ツテ居リマス、ソレデ重複シテ機關ガ出來マスルコトハ、將來色々煩ハシイ問題ガ起ルドラウト云フコトデ、此ノ會社ト致シマシテ現在ノ計畫ト致シマシテハ左様ナル方面ニマデ進ンデ居リマセヌガ、滿拓公社ノヤウナ業態ニマデ進ムコトハ最モ希望スベキコトデアルト、實ハ考ヘテハ居リマス

○杉山委員 サウスルト營業ノ方面ニ金融ヲスルト云フ簡條ガゴザイマスノハ、農業ノ方面ヲ除イテ、此ノ會社ダケノ事業ニ關聯スル或ハ山林事業ダトカ、サウ云フコトナラバ金融ヲスル、斯ウ云フヤウニ解シテ宜イノデゴザイマスカ

○小河政府委員 御答ヘ申上ゲマス、此ノ金融ト申シマスノハ、例ノ株式ヲ應募致シマシテ、株主ニナルコトニ依ツテ金融上ノ援助ヲ致シマスル仕事ヲ指シテ居ルノデアリマス

○杉山委員 今ノ集團移民ノ成績不良ノ點ノ一ツニ、移住シタ土地ガ惡カツタ、斯ウ云フ御話ガアツタノデアリマスガ、私ハ此ノ際特ニ樺太長官初メ關係ノ方々ニ御願ヒヲシ、尙ホ質問シタイと思ヒマスコトハ、樺太ノヤウナ亞寒地帯ニ所謂定住ヲサシテ此ノ會社ガ經濟開發ヲスル、斯ウ云フノデ

アリマスガ、其ノ經濟開發ヲ致シマス根本ハ勿論人間デアアルコトニハ間違ヒハナイ、所ガサウシタ亞寒地帯ニ住マナケレバナライノニ拘ラズ、之ニ適應スルヤウナ研究ト言ヒマスガ、衣食住ニ關スル研究ハ十分ナシテ居ラナイノデハナイカ、北海道ニ參リマシテモサウデアリマスガ、アノ寒イ所ニ居ツテヤハリ南方ノ生活ト同様ノ生活様式デ居ル、斯ウ云フ點ヲヨク見受ケルノデアリマスガ、恐ラク樺太ニ於テモサウ云フ生活様式ヲサレテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ點ガヤハリ滿洲デモ見受ケラレル、ソレガ生活ガ適應シナイト云フカ、敗殘スル所ノ一ツノ大キナ原因ニナツテ居ルト思フノデアリマス、今米ニ執着性ガアル、ソレハ御話ノ通り長イ歴史ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、米ノ穫レナイ所デモ斯ウ云フ生活様式デ生活ガ出來ルト云フ立派ナ生活、他ノ民族モソレヲ致シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ意味ニ於テ樺太ニ於ケル衣食住、之ニ對シテ斯ウ云フヤウニスルナラバ實ニ生活様式ガ皆ク行クノダ、是ナラバ樂シク生活ガ出來ルノダ、サウシテ成功的ニ行クノダ、斯ウ云フモノガナケレバナラス、ソレヲ示シテ初メテ樺太ニ參リマシタ人達ガ安心シテ生活シ、其ノ様式ニ從ツテ樂シク生活シテ行クコトガ出來ル、斯ウ云フモノガ若シオアリニナルナラバソレヲ示シテ戴キ、又サウ云フ研究ガナイナラバ、サウ云フ研究ヲスル施設ヲスル意圖ガアルノカドウカ、サウ云フ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイと思フノデアリマス

○小河政府委員 其ノ點ハ全ク杉山委員ノ仰シヤル通り甚ダ遺憾デアリマス、是ハ大

和民族到ル處同様ノ生活様式デ行ツテ居リマシテ、北海道ニ於ケル様式即樺太ニ於ケル様式デアリマシテ、滿洲ニ於テモ同様デアアルノデゴザイマシテ、甚ダ手遅レデハゴザイマスガ、昭和十五年即チ本年度カラ昨年度ノ議會ニ於テ御協賛ヲ經マシタ中央試驗所ニ保健部ト云フモノヲ設ケマシテ、亞寒帶ニ於ケル衣食住ノ研究ヲシタイト云フコトデ經費ヲ戴イテ居リマシテ、官制其ノ他ノ遲延ニ依リマシテ、店開キヲ今シタト云フ程度ニ止ツテ居リマス、マダ其ノ試驗ノ結果ヲ申上ゲルマデニ立至ツテ居リマセヌコトハ甚ダ遺憾デゴザイマス、併シナガラ是ハ札幌大學ノ研究ノ結果及ビ滿洲醫科大學ニ於ケル衣食住ノ研究ノ結果等ヲ採入レテ、早急ニ是ガ結果ヲ出シマシテ、移住民ノ指導ニ當リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○沖島委員長 杉山君一寸申シマスガ、十二時ニナリマシタカラ、暫ク休憩シマシテ、大體本會議終了後二時頃カラ再開致シタイと思ヒマスガ、如何デスカ

○杉山委員 ソレデハ後ニ致シマス

○松浦(周)委員 此ノ次ノ會議ノ開カレル前デ宜シウゴザイマスカラ、資料ノ來テ居ラスモノヲ早急ニ貰ヒタイと思ヒマス、ソレハ樺太ノ農家ノ平均生活費、ソレト平均收入ガ約九百三十圓ト此處ニアリマスガ、九百三十圓デ生活スルコトガ出來ヌコトハ明カデス、其ノ足ラス所ヲドウ云フ方面ノ副業ヲヤツテ居ルカト云フ統計ヲ得タイ、ソレカラ漁業ノ方モ五千三百戸ニ對シテ三千五百萬圓ノ收入ダト云ヒマスガ、勿論是ハ大企業ノモノヲ一戸ト看做シテ御計算ニナツテ居ルカラ斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、大衆漁民、所謂一般漁民ノ生活

費、ソレカラ一般漁民ノ漁獲量、其ノ不足ノアルモノハ漁業ノ方面デハドウ云フ方面ニ收入ヲ求メテ居ルカ、其ノ統計ヲ一ツ出シテ戴キタイト思ヒマス

○小河政府委員 資料デ御手許ニ行ツテ居リマセヌ分ハ、總動員機密ニ基イテ出セナイ部分ダト思ツテ居リマス、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今ノ漁業ノ方ノ收支ノ問題ハ、普通ノ漁業家ト云フ意味ダラウト思ヒマスガ、之ニ基イテ取調ヲサセルコトニ致シマス、唯樺太ニ於テハ、北海道ノ方モサウデアリマスガ、所謂漁場ノ持主ト云フモノガアリマシテ、ソレガ季節的ニ労働者ヲ入レテ使用人ヲ多勢使ツテ漁業ヲシテ居ル者ガ相當多イ、隨テソレ等ノ數字ガ入ツテ居ルノダラウト思ヒマス

○松浦周委員 只今ノ御話デアリマスガ、私ノ申シマシタルハ漁業ノ方ハ御話ト逆ナシデス、戸數ガ少イノニ金額ガ多イ、ソレガ五千三百戸デ三千五百萬ノ水揚げヲシテ居リマス、是ハ今申シマシタルヤウニ大企業ガ多イカラサウナルノデアリマス、結局大衆漁民ノ生活費ヲ出シテ戴キタイ、農家ノ方ハ只今副業カラ收入ヲ得テ居ルコトハ、是ハ機密ニナラナイト思ヒマス、ソレカラ農産物ノ平均統計ヲ御現ハシニナツテ居ルニモ拘ラズ、家畜ノ方面ニ手ヲ着ケテ居ラレナイ、是ハ家畜ハ決シテ私ハ機密ニナラナイト思ヒマス、ソレデ結局只今杉山サンノ仰セニナリマシタル亞寒帶農業ヲ經營スルトト云フコトニナラバ、作物バカリニ依ツテ生活スルコトガ出來ナイ、ダカラ家畜ノ問題ガ根據ニナルト思ヒマス、私ハ此ノ統計ガナケレバナラスト思ヒマスガ、之ヲ出シテ戴キマス

○植場政府委員 只今長官カラ資料ノコトヲ御答ヘ致シマシタガ、私カラ一寸補足サシテ戴キマス、今御話ノ家畜關係デゴザイマスガ、其ノ中デ馬ハ御承知ノ通り軍機保護法ニ引掛リマス、馬以外ノモノハ御話ノ通りデアリマス、ソレカラ例ヘバ年次ノ長イ御要求ノゴザイマシタルモノハ機密デナイノデゴザイマスガ、實ハ事務的ニマダ出來上ラヌノデゴザイマス、御諒承願ヒマス

○松浦(周)委員 馬以外ノモノハ出來ルノデゴザイマセウカ、是ハ中心ハ馬ヨリモ牛、羊ノ方面デス

○植場政府委員 馬以外ノハ作ツテ居リマス、今オ手許ニ出シテ居リマス資料ノ中ニ手デ破ツタ所ガ少シゴザイマスガ、是モ御諒解ヲ得テ置カナケレバナラヌノハ、正直ニ申シマス「ブタノール」ノコトガソコニ書イテゴザイマス、ソレデ「ブタノール」ハ御承知ノ動員機密ニナリマス、ソレデ差上ゲル時ニ手デ破リマシタルノデ、甚ダ失禮デアリマスガ、御諒解ヲ願ヒマス

○松浦(周)委員 造林費ノ方面ノコトニ付キマシテ現在此處ニアリマス統計ノ昭和六年以前ノ總計ト云フモノハ御分リニナリマセヌカ、詰リ領有三十年間ニ造林費ヲ幾ラ使ツタカト云フコトヲ見タイノデス、サウシテ現在ノ造林面積ハ幾ラアルカト云フコトヲ知リタイ

○植場政府委員 ソレハ分リマスケレドモ、十年ト言ハレタノデソレダケ出シタルデス

○松浦(周)委員 ソレ以前ハ分リマスカ

○植場政府委員 分リマス

○松浦(周)委員 今マデ幾ラ造林費ヲ使ツタカ、ソレニ依ツテ現存シテ居ル所ノ造林面積比較ヲ見テ一町當リ幾ラノ造林費ニナルカト云フコトヲ見タイノデス

○沖島委員長 二時マデ休憩致シマス
午後零時十二分休憩

午後三時四十五分開議

○沖島委員長 ソレデハ午前ニ引續キ會議ヲ開キマス——杉山君

○杉山委員 午前ニ引續キマシテ出來ルダケ簡單ニ重複ヲ避ケテ御尋ネ致シタイト存ジマス、午前ニモ一寸伺ヒマシタ機械化農場ノコトデアリマスガ、機械化ヲスルト云フノデスガ、ドウ云フ機械ヲ大體何臺入レルモノデアルカ、サウ云フ點ガ明ラカニ分ツテ居リマスナラバ御示シテ戴キタイコト、ソレカラ三十萬石ヲ生産スルト云フコトダケガ資料ニ依ツテ明瞭ニナツテ居リマスガ、又一方ノ資料デハ數年後ニ七千三百二十五町歩段々開墾シテ行クト云フコトガ明ラカニサレテ居リマス、ソレデケデハ三十萬石生産出來マセヌノデ、最後ニハ何町歩マデ開墾スル豫定ニ相成ツテ居ルノカ、尙ホ直營農業ダト申サレテ居リマシタガ、然ラバ之ニ大體どれ程ノ農業従事員ト云フモノヲ御見込ニナツテ居ルノカ、又ソレ等ノ人ニ對シマスル大體ノ待遇、募集條件、斯ウ云フモノガ若シ御分リニナツテ居ルナラバ此ノ際ニ御示シテ戴キタイト思フノデアリマス

○小河政府委員 御答ヘ申上ゲマス、大體此ノ農場ノ經營方式ト致シマシテハ、一箇所二百町歩ヅツノ農場ヲ五十箇所ヲ經營スル、ソレデ一万町歩ト云フ計畫デアリマス、サウシテ一箇所單位ニ申上ゲマス、一箇所ノ農場ニ二臺ノ「トラクター」ヲ備付ケル、

百町歩ニ對シテ一臺ト云フ豫定デアリマス、此ノ「トラクター」ニハ「カルチヴェーター」「ハロー」モクツ付ケテヤル、斯ウ云フ大體計畫ニ致シテ居リマス、ソレガ出來上リマシタ時ニハ宅地、畦畔、其ノ他ヲ除キマシテ大體九千五百町歩ノ開墾ヲ了スル豫定デゴザイマス、ソレカラ此ノ農場カラ生産致シマスル穀類、芋類、斯様ナモノヲ合セマシテ年額三十萬石ト云フ計算ヲ致シテ居リマスガ、馬鈴薯等ニ於キマシテハ、之ヲ雜穀ニ計算スル計算ニシテ居リマス、此ノ換算率等ノ詳細ニ付テハ説明員カラ説明致サセマス

○野路説明員 馬鈴薯ハ大體四十貫ヲ以チマシテ一石ト計算ヲ致シマス、一万町歩ノ畑デ九千五百町歩作付致シマシテ、ソレノ收穫ヲ申上ゲマス、小麥ガ二萬四千石ノ豫定デゴザイマス、ソレカラ燕麥ガ一萬七千七百五十石、ソレカラ蠶豆ガ二萬一千二百石、馬鈴薯ガ七萬六千五百貫、其ノ外甜菜ガ五萬貫デアリマス、是等ノ雜穀ハ家畜飼料ヲ差引キマシタ残りノ分デゴザイマシテ、之ヲ市販出來ルモノノミヲ集メマシテ大體三十萬石ト云フ見當ヲ付ケテ居リマス

○杉山委員 馬鈴薯ノ換算率ハ計算シテ見ナケレバ能ク分リマセヌガ、今御伺ヒシタ數字デハ頭ニピンント來ナイ、ドウモ三十萬石ニ該當スルヤウニ思ハナイ、詰リ面積ハ是デハ狭イノデヤナイカト云フ感ジガスルノデアリマス、是ハ尙ホ後刻能ク計算致シマシテカラ間違ヒガアレバ又伺ヒタイト思ヒマスガ、ソレハソレニシテ置キマシテ、一箇所二臺ノ「トラクター」ヲ初年度カラ直グニ購入スル譯デハナイト思フ、或ハ開墾デ

アリマスカラ直グヤラナケレバナラヌトモ思ヒマスガ、サウ云フ多量ノ「トラクター」ガ直グニ手ニ入ルノカドウカ、ソレカラ先程伺ヒマシタ收容人員デスガ、サウ云フヤウナ點ナドニ付テモ詳シク御示シ戴ケレバ結構デスガ

○小河政府委員 大體十箇年間ニ一萬町歩ノ農場ヲ經營スル豫定デゴザイマス、毎年二百町歩ノ農場ヲ五箇所、千町歩ツツ農場ヲ經營シテ行クノデゴザイマスガ、是モ開墾ノ階段ガアリマシテ、初年度ニ開墾面積百町歩、翌年度ニ百町歩、二年間デ二百町歩ノ農場ノ開墾ヲ終ル豫定デゴザイマス、併シ作付ハソレヨリ自然多少遅レテ参リマス、ソレカラ此ノ資材ヲ得ル問題デゴザイマスガ、今日ノ情勢ハ相當ニ樂デハナイト考ヘルノデゴザイマス、左様ナル場合ハ何處カラカ融通スルト云フヤウナコトモ考ヘマシテ、是非ハ實行致シタイ、大體一臺ノ能力百町歩ト云フコトハ餘程「アロウアンス」ガ見テゴザイマシテ、百五十町歩位ハ宜イノデヤナイカト思ヒマスルガ、故障ノ出來タ場合ノコトヲ顧慮致シマシテ、サウシテ二臺一組一農場ト云フヤウナ計畫ニ致シテ居リマス、十分入りマセヌ場合ハ、一臺デ一農場ト云フヤウナコトデ間ニ合セニヤルコトモ生ズルカトモ思ヒマス

○杉山委員 今ノ農場ニ收容スル農業従事員ノ數ハ……

○小河政府委員 大體一農場ニ場長以下十名ノ職員ノ豫定デゴザイマス、其ノ外ニ、農繁期ダケ一段歩一名位ノ農夫ヲ雇傭スル計畫ニ致シテ居リマス

○杉山委員 ドウモ其ノ御計畫デハ隨分御困難ダト思ヒマス、ナゼ困難ト考ヘルカト

云フト、先程カラモ色々御話ガゴザイマシタヤウニ、普通ノ農家ノ數ガ色々御保護ニナツテ居ルニ拘ラズ減ツテ行ツテ居ル、是ハ炭山ナリ其ノ他殷賑産業ノ方ニ吸收サレノデアル、斯ウ云フヤウナ譯デ、農民ヲ島内カラ得ルト云フコトニハ非常ニ困難性ガアルノデハナイカ、一年中從事シテ居ルヤウナ農家ノ者ヲ置イテオカナイデ、唯農繁期ダケ御雇ヒニナルト云フナラバ、他ノ農業ニ從事シテ居ル者モ忙シイ時ハヤハリ自分モ忙シイノデアリマスカラ、其ノ點ノ困難ガアルト思フノデアリマスガ、其ノ臨時雇出ル來ルト御考ヘニナツテ居ルノカドウカ、ソレカラ五十箇所オヤリニナルト云フノデスガ、其ノ農場ノ大體ノ分布狀態ハドウ云フヤウニナツテ居リマスカ、其ノ點モ御示シ戴ケレバ結構ダト思ヒマス

○小河政府委員 無論サウ樂デハナイト思ヒマスガ、一年ニ二百町歩ツツノ農場ヲ五箇所ト云フノデアリマスカラ、只今申上ゲタヤウナ人員ヲ五倍要スル譯デアリマス、其ノ外ノ農繁期ノ雇傭努力デアリマスガ、是モ相當ニ苦勞ダト思ヒマス、併シ現在デモ各農家ハ自家努力ダケハ足リマセヌノデ、農繁期ニハヤハリ雇傭努力ヲ使ツテ居リマス、ソナコトヲ考ヘマスト、必ズシモ全ク不可能ト云フノデハナイノデ、ヤハリ餘程骨ガ折レルデゴザイマセウガ、得ラレルダラウトハ考ヘテ居リマス

○杉山委員 農場ノ分布ハ……

○小河政府委員 實ハマダ豫定致シテ居リマセヌ、是ハ國有未墾地ノ貸下ヲ受ケタリ、或ハ拂下ヲ受ケマス所モゴザイマス、或ハ民有ノ農場ヲ買入レル分モゴザイマシテ、相當廣イ可耕地ガ全島各所ニ分布致シテ居

リマス、ソレデ只今マデ拂下致シマシタ——御手許ニ差上ゲマシタ表ニモアリマスル如ク、只今マデ處分ヲ致シマシタ土地ノ數量ノ中デ、現在耕作致シテ居リマスルノハ大體三萬町歩位シカナイ、ソナ事情デゴザイマスノデ、其ノ餘地ハ相當ニアルト思ツテ居リマス

○杉山委員 農場ノ問題ハソレ位ニシテ置キマシテ、交通運輸ノ問題ニ付テ少シク御尋ネ致シタイト思ヒマス、資料ニ依リマス、石炭ハ年産百萬「トン」ヲ目標ニ產出スル、從來デモ昭和十二年末ノ統計ヲ見マス、多分二百五十四萬「トン」位石炭ガ出テ居ツタヤウニ思ヒマス、其ノ上ニ百萬「トン」ヲ増産スル、斯ウ云フコトニ相成ルダラウト思ヒマスシ、又木材ノ方ニ致シマシテモ、年々千五百万石バカリ出テ居ツタヤウニ見受ケルノデアリマス、其ノ上ニ又五百万石生産スル、斯ウ云フコトニ相成リマス、相當數量ノ物資ガ出テ來ル、斯ウ致シマス、之ヲ輸送致シマス所ノ鐵道關係、是ハ從來ノ鐵道デハ可能デアルカドウカ、斯ウ云フ問題ヲ先ヅ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○小河政府委員 御答ヘラ申上ゲマス、御心配御尤モダト存ズルノデゴザイマスガ、此ノ樺太ニ於ケル石炭ノ生産額ハ、是ハ此處限りデアリマシテ、正確ノ數字ヲ外部ニ出セナイノデアリマスガ、申上ゲマスト、只今仰シヤツタ通りニ、昭和十二年ニハ二百三十四萬「トン」デゴザイマスガ、昨年度ハ四百四十七萬「トン」生産致シテ居リマス、ソレカラ本年度ハ六百七十萬「トン」生産致シテ居リマス、明年度ハ八百五十三萬「トン」生産致シテ居リマス、本年計畫ニナツテ居リマシテ、本

年ハ計畫通り遂行ガ出來タノデゴザイマス、明年モ恐ラクハ此ノ計畫通り遂行スルコトハ、サウ至難デナイト思フノデゴザイマス、ソレデ六年後ニ年産百萬「トン」生産シテ出スト云ヒマスノハ、奥南名好ノ炭田ダケデ出ス計畫デアリマス、隨テ此ノ炭田ト海岸トノ間ハ專用ノ軌道ヲ數ク計畫ニ致シテ居リマス、ソレカラ海岸カラ本船ヘハ、舁デ沖荷役デ本船取ヲスル豫定ニシテ居リマス、隨テ是ハ船ノ廻リサヘ宜ケレバ行クモノデハナイカ、六年間ニハ舁、棧橋、ソレカラ舁ノ用意ヲ致シマスカラ行クデアラウト、斯様ニ存ジテ居リマス、只今デハ惠須取ノ方面デハ沖荷役デ三百萬「トン」位出シテ居リマス、サウ困難デハナイノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ木材ノ方ノ關係デ五百万石伐リマス云フコトハ、今朝モ申上ゲマシタヤウニ、今マデ伐ツテ居ツタヨリ五百万石増伐スルト云フ趣旨デハナイノデゴザイマス、豫定伐採數量ガ、御承知ノ如ク昭和十五年ハ二千三百万石伐採致シテ居リマス、是ハ標準年伐量ノ千三百万石ニ對シマシテ、略、千万石過伐ニ相成ツテ居リマス、明年ハ大體二千五百万石程度ヲ伐採ノ豫定ニ、既定ノ計畫ハ相成ツテ居リマス、ソレデ此ノ既定ノ計畫ノ中、五百万石ヲ此ノ會社ニヤラセヨウ、斯ウ云フ計畫デアリマス、サウシテ樺太ノ木材ノ特殊ノ事情ハ、北海道、内地ノヤウニ鐵道輸送ノ距離ガ非常ニ少ウゴザイマシテ、山元カラ直チニ流送ニ依リマシテ海岸マデ持ツテ來ル、海岸ノ工場デ水切ヲ致シマシタリ、或ハ川口デ筏ニ組ミマシテ、沖ニ來マシタ本船デ直チニ沖取ヲスルト云フヤウナ搬出ノ方法ヲ執ツテ居リマスノデ、此ノ仕事ヲ

致シマスガ故ニ、島内ノ鐵道其ノ他ノ運搬機關ニ特殊ノ窮屈ヲ感ズルト云フコトハ、只今デハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○杉山委員 説明ニ依ツテ鐵道輸送ニハ支障ガナイト云フコトヲ伺ヒマシテ、安心ヲ致シタノデアリマスガ、直接此ノ會社ニ關係ハナイカモ知レマセヌガ、樺太ノ石炭ノ多クノ會社ノ輸送路ヲ見マス、各會社銘々ノ線路ト云フモノヲ色々持ツテ居ツテ、横ノ連絡ナシニヤツテ居ルヤウナコトガアリマスガ、アレヲ統一シテ行ケバ、モツト石炭輸送ナドニ非常ナ便宜ガアルノデハナイカト云フコトヲ、素人ノ畫面ノ上デ拜見スルノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトナドモ、此ノ會社ト共ニ御計畫ニナルヤウナコトガアルカドウカ

ソレト、鐵道ノ方ハ宜イト致シマシテモ、港灣ノ方ハ今大泊ナリ、或ハ眞岡ナリ、本斗ナリ、色々築港計畫ヲナサツテ、アア云フモノハ既ニ完成ニ近イモノモアルヤニ見受ケルノデアリマスガ、先程モ御説明ノヤウニ、不凍港ハ唯本斗ダケデアリマス、所ガ本斗ハ非常ニ小サイヤウニ見受ケマス、計畫ガ出來マシテモ千五百「トン」級ノモラ三隻シカ繋留出來ナイ、斯ウ云フヤウナ狀態デ、果シテ冬季石炭ナリ木材ナリヲ輸送シテ參リマス時ニ、今ノヤウナ港灣計畫デ以テ十分デアルカドウカ、先づ第一ニ此ノ港灣ノ點ニ付テ御示シテ戴キタイと思ヒマス

○小河政府委員 御答ヘテ申上ゲマス、最初ニ御尋ネガゴザイマシタ各炭山ノ聯合ラ圖ルコトニ依ツテ、荷役能率ヲ擧ゲタラドウカト云フ點デゴザイマスガ、當局トシテモ全ク同様ノ意見ヲ持ツテ居リマス、當局トシテハ本會社ト關聯ハ致サセテ居リマセ

ヌガ、今日片方ニ於テ樺太石炭工業株式會社ト云フ會社ヲ作リマシテ、是ハ王子、三井、三菱ノ此ノ三社以外ノ樺太内ノ各炭礦ガ全部ニ一緒ニナリマシテ、販賣會社ノヤウナモノニ致シテ居リマス、隨テ是等ノモノニ屬シテ居リマス石炭ハ、積合セ其ノ他モヤルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス

共ニ、王子、三井、三菱等ニ對シテモ、本年カラハ中央ノ海運統制委員會ニ呼應致シマシテ、樺太ノ海運統制委員會ト云フモノヲ組織致シマシテ、サウシテ配船其ノ他ヲ共同ニ致ス豫定ニシテ居リマス、又各港灣ニ於ケル荷役業者ノ合同ヲ今懸念シテ居リマスガ、此ノ合同ニ依ツテ一方ノ弊業者ハ非常ニ多忙デアルガ、一方ハ非常ニ閑散ヲ極メテ居ルト云フヤウナ不合理ノ狀況ノナイヤウニ、船ガ入リマスレバ全力ヲ擧ゲテ荷役ヲ致スト云フヤウナコトニシテ、輸送ノ緩和ヲ致シタイ積リデ、折角片方デ努力シテ居リマス

次ノ御尋ネハ、港灣施設ガ足りナイデハナイカト云フコトデアリマシタガ、是モ全ク其ノ通りデアリマシテ、現在出來上ツテ居ル港ト云フモノハ殆ドゴザイマセヌ、大泊港ガ總力ニ出來上ツタ形デアリマスガ、是トテモ新堤防ノ沖ニ防波堤ガ出來ナケレバ十分ナ能力ヲ發揮スルコトハ至難デアラウト思ハレマス、ソレカラ先程御答ヘテ申上ゲマシタガ、奥南名好ノ炭ハ將來鐵道ガ敷カレバ本斗ノ港ヲ利用スル、斯様ニ申上ゲマシタガ、本斗ノ港ハ現在マデノ計畫デハ只今御話ノ如ク、總力ニ千五百「トン」級、最大二千「トン」級ノ船ヲ入レルコトガ出來ル計畫デアリマスガ、來年度豫算ニハ是ガ改訂ヲ御願ヒ申上ゲテ居リマス、

是ハ來年度經費ノ繼續費ニ金額ノ追加ハナカツタカト思ヒマスガ、計畫全體ハ變更ニナリマシテ、繼續費ノ全體ノ金額ハ殖エテ參リマス、サウシテ今ノ港ノ南ニ當リマシテ、防波堤ノ暗礁ヲ掘鑿スルコトニ依リマシテ、大體五千「トン」級ノ船ガ二隻同時ニ繫留シテ、石炭荷役ガ出來ルヤウナ設備ニシタイト思ツテ居リマスガ、ソレト相關聯シテ眞岡ノ港ニ於テモ石炭積出専用ノ港ヲ持チマスヤウニ、是モ繼續費ノ更正ヲ御願ヒシテ居ルヤウナ次第デアリマス

○杉山委員 北ノ方ノ惠須取ノ方ハ何カ築港計畫ガアルヤウニ聞イテ居リマシタガ、惠須取港ハドウナリマスカ

○小河政府委員 惠須取港ノ築港モ多分一昨年ノ議會デ御協賛ヲ經マシタノハ六百五十一萬圓ノ經費ヲ以チマシテ、昭和十八年度マデニ完成スル豫定デ計畫ヲ進メテ參ツタノデアリマスガ、到底是デハ將來ノ需要ニ應ジラナイ過小ノ計畫デアリマスノデ、今回此ノ計畫ヲ改訂ヲ御願ヒ致シマシテ、一千四百九十九萬圓ヲ追加シテ戴キマシテ、千八百萬圓ノ總額ト致シマシテ、昭和二十年マデニ之ヲ完成スルコトニ致シマシタ、大體年間四百萬「トン」ト云フ計畫デゴザイマスガ、是ハ餘程内輪ニ見テ居リマシテ、港ノ積出設備ノ方ノ陸上ノ設備ガ整ヒマスル爲ニ恐ラク千八百萬「トン」マデノ移出ガ出來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○杉山委員 大體ノ御説明ニ依リマシテ、港灣ノ方ノ設備モ漸次完成シテ參リマスナラバ稍、輸送可能デアル、斯ウ云フ見透シガ付イタノデアリマスガ、今モ御話ノヤウニ、冬季船ノ輸送ノ非常ニ困難ナ場合ガ樺太ニハ非常ニ多イト思フノデアリマスガ、サウ

云フ場合蓄積設備ガ他ノ内地ノ港灣ト違ツテヨリ一層ニシテ居ラナケレバナラスト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナ設備等モ色々今マデノ港灣ノ設備ヲ拜見致シマス、甚ダ狭小ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ルカ、又今後致シマスヤウナ新シイ港灣ニ對シテハ、サウ云フ點ニ付テノ御考慮ヲ拂ツテナサレテ居ルノデアルカドウカト云フコトヲ御尋ネシタイと思ヒマス

○小河政府委員 此ノ點モ全ク杉山委員ノ御話ノ通りデアリマシテ、從來ノ港灣ニハ貯炭場ノ設備ガゴザイマセヌデ、非常ニ困ツテ居リマス、隨テ今度ノ惠須取港ノ築港計畫ニハ、陸上ニ相當廣イ貯炭場ノ豫定地ヲ豫定致シテ居リマス、唯此ノ點ニ付テハ只今當業者ト折衝中デゴザイマスガ「ウソ」地帯デアリマシテ、土質ガ惡イノデ非常ニ基盤ニ達スル深サガ深イノデ、餘リ大量ノ貯炭ヲスル設備ヲ其處ニスルト云フコトハ至難ノヤウデゴザイマス、ソレデスカラ一定量ノ貯炭設備ヲ致シマシテ、他ハ山元ニ貯炭ヲスル、斯ウ云フ計畫デゴザイマス、幸ヒニ樺太ノ山ハ、大體山ト港トノ距離ガ餘リ離レテ居リマセヌノデ、山元貯炭ヲ十分ニ致シテ置キマスレバ、一定限度ノ貯炭サハ港頭ニアレバ、船ガ參リマスト直ダアトハ順繰リニ出セル、斯ウ云フ計畫ニナツテ居リマス、ソレカラ眞岡ノ港デハ今マデノ計畫デ市街地豫定地トシテ民間デ埋立テマシタ相當ノ廣イ埋立地ガゴザイマスガ、之ヲ用途變更ヲ許可ヲ致シマシテ、貯炭場トシテ使フコトニシマシタ、其ノ地先ニ積込設備ヲ造ルト云フコトニ致シテ居リマス、本斗ノ港モ今度構築ヲシヨウト云フ所ニ埋

立ヲ許シマシテ、其處ニ貯炭場ヲ設ケル豫定ニナツテ居リマス、ソレカラ大泊ノ港モ差當リ内淵ノ隅ヲ、液化工場ノ運轉ヲ始メルマデモ内地ニ出シタイ、斯ウ云フ積リデ積込設備ノ計畫ヲサセテ居リマス、其ノ爲ニ只今アリマスル大泊本驛ヲ移轉サセマシテ、其ノ移轉シタ跡地ヲ貯炭場トシテ利用シテ積込ニ支障ナイヤウニサセタイ、斯ウ云フ計畫デ參ツテ居リマス

○杉山委員 交通運輸ノ方面ハソレ位ニシテ置キマシテ、次ニ森林ニ關シテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、特ニ此ノ問題ハ一ツ大臣ニ御願ヒ致シタイノデアリマスガ、ソレハ既ニ御承知ノヤウニ、内地林政ト樺太林政トハ別ニナツテ居ルコトデアリマス、山林會或ハ森林會、斯ウシタ森林關係ノ各種團體ニハ常ニ内地林政ト樺太林政ト一ツニシテ貫ヒタイ、一本ニシテ貫ヒタイ、斯ウ云フ切ナル希望ガアルノデアリマス、今日ノヤウニ總テノモノガ一貫統制ヲサレテ參リマス時ニ、林業ニ於テ樺太ハ樺太ダケヤツテ行ク、内地ハ内地デヤツテ行ク、斯ウ云フコトハ色々林政ノ上ニ差支ガアラウト思フノデアリマス、サウ云フ意味合カラ致シマシテ林業關係ノ者、山林關係ノ者ガ常ニ内地及ビ樺太ヲ一貫シタ林政ニ致シタイ、斯ウ云フ熱望ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ對シマシテ近クサウ云フコトヲスル決意ガアルノデアルカ、或ハドウ見テモハ出來ナイノカ、出來ナクレバ出來ナイト云フ特殊ナ理由ガゴザイマスレバ、其ノ點ニ付テノ御示シヲ戴ケレバ幸ヒダト思フノデアリマス

○秋田國務大臣 原則トシテ林政ニ限リマセズ、可能ノ範圍ニ於テ總テ内外地一貫ノ

方策ヲ立テテ行クコトハ望マシイコトデゴザイマス、隨テ林政ニ付テモ内外地ヲ一ツニシテ行キタイト云フ要望ノアルコトモ無理カラスコトデアルト思ヒマスルガ、外地ニ於キマシテハドウシテモ内地ト一ツニシテヤツテ行クコトノ出來ナイ特殊ノ事情ガ多々アリマスルノデ、總テ外地ト内地ト特別ノ措置ヲ執ツテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、特ニ樺太ノ林政ニ付キマシテハ、今直チニ之ヲ内地ト一貫ノ方針ニ移シテヤツテ行クコト云フコトハ、ドウモ事情ガ許サヌノデハナイカト云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、何レ農林省アタリトモ能ク相談ヲ致シマシテ、ドノ程度ニ之ヲ貫キ得ルカト云フコトヲ能ク研究致シテ見タイ、只今ノ所デハ其ノ程度ニ御答ヘテ申上ゲルノ外ハナイノデアリマス

○杉山委員 大臣ハ樺太ノ特殊事情ガアルト言ハレル、私モ特殊事情ガアラウト思フノデアリマスガ、其ノ最モ内地林政ト一ツニナリ難イト云フ重要ナ點ヲ、是ハ大臣デナクテモ結構デスカラドウナカラデモ御示シガアレバ結構デス

○小河政府委員 大體御承知ノヤウニ、數年前ニ樺太ノ林政ヲ改訂致シマシテ確立致シマシタ際ニハ、内地ノ斯界ノ權威ノ方々ニオイデヲ願ヒマシテ、十分御調査ヲ願ツタ結果確立致シタ計畫デゴザイマス、唯樺太廳ト致シマシテハ特別會計ト致シマシテ其ノ歳入ノ大宗ヲ森林收入ニ仰イデ居リマス、サウシテ樺太ト致シマシテハ、島内ノ開拓ヲ促進シテ參リマスル爲ニハ、統治以來誘致シテ參リマシタ樺太ニ於ケル「パール」工場、製紙工場、斯ウ云フモノノ休止ヲ見ルヤウナコトニナリマス開拓上非常ニ

困ルコトニナリマス、何ハ緒テ措イテモ斯ウ云フ工場ノ資材ノ供給ヲ圖ラネバナラス、ソレハ最近盛シニナツテ參リマシタ石炭鑛業ノ關係ニ於テモ、此ノ坑木ノ供給ト云フコトハドウシテモ島内ニ於テヤラナケレバナラス、斯ウ云フヤウナコトト睨ミ合ハセマシテ、總テノ林政ヲ立テナケレバ相成ラスコトニナツテ居リマス、勿論施業案等ニ付テノ打合せ、連絡ハ十分農林省ト執リ積リデアリマスガ、今俄カニ一本ニシテ經營スルト云フコトハ一寸ノ不可能コトト思ヒマス、現在内地ニ於キマシテモ、北海道ト其ノ他ノ地方デハ別箇ノ林政デヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス、而モ亞寒帶ニ屬シテ居リマス結果、今マデノ研究ニ依ツテモ木材ノ伸張力其ノ他ハ内地ト北海道トデハ餘程差ガゴザイマシテ、内地ニ於ケル林政デ直チニ樺太ノ林政ヲヤツテ行クコト云フ譯ニモ行キ兼ねルヤウナ實情ニアル譯デゴザイマス

○杉山委員 御伺ヒシマシタ點デハ十分納得ハ行カナイノデアリマスガ、樺太ノ特殊事情ガゴザイマスナラバ特殊事情ヲ認メテモ林政其ノモノノ上デハ一貫シテ行クコトガ出來ルノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマスガ、當局ノ方々ガ色々實際ニ當ツテ困難デアルト云フノデアレバソレハソレトシテ、出來ルナラバ先程申シマスヤウニ特殊事情ヲ認メテモ、林政其ノモノトシテ一貫シタモノニサレタナラバ非常ニ好都合デハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘル譯デアリマス

次ニ御伺ヒ致シタイ點ハ、樺太領有當時ニハ森林資源ガ十七億万石程アツタ、所ガ二十年ノ中ニ其ノ資源ハ三分ノ二減少シタ、

現在殘ツテ居ルノハ僅カ五万六千石内外シカ利用シ得ルモノハナイ、嘗イタ物ヲ見マスト斯ウ云フヤウニ見エテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ狀態デ先程カラ御話ノゴザイマシタヤウニ今後益々「パール」資材トシテモ重要性ヲ増シテ參リマセウシ、又石炭等ノ鑛業ノ開發ノ爲ニ坑木トシテ利用サレルモノモ益多クナツテ來ルト云フコトカラ考ヘマスト、今後利用ハ増加致シマシテモ減少スルコトハ恐ラクナイト思フノデアリマス、サウ致シマス、恐ラク二十年足ラズシテ樺太ノ森林ハ全ク資源ガ無クナツテシマフト云フヤウナ計算ニナルヤウデ私ハ心配ヲスルノデアリマス、一方栽植ヲシテ行クノデアリマセウガ、先程モ御説明ガアツタヤウニ、年々過伐ガ千万石モアルト云フコトデアリマス、伐ル方ガ大キナモノヲ伐ツテ參リマスシ、生長率ハ先程申シタヤウニ非常ニ鈍イノデアリマスカラ、今ノヤウナ狀態デ行キマシテ過去ノ轍ヲ履ムト恐ラク非常ニ窮迫狀態ニ立至ルドラウト云フコトヲ心配シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ見透シヲ一ツ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○小河政府委員 杉山サンノ御心配全ク御尤モデゴザイマス、唯只今仰シヤイマシタ利用シ得ベキ蓄積ハ五万六千石デナクシテ五億六千万石——大體五億七千万石デゴザイマス、今日殘ツテ居ル蓄積ガ約八億五千万石デアリマス、此ノ中ノ利用シ得ベキ林木ト致シマシテ五億七千万石ト云フモノヲ只今デハ計算ヲ致シテ居リマス、サウシテ只今過伐ニ相成ツテ居リマス原因ハ、林政ヲ確立致シマスル以前ニ、既ニ處分ヲ致シマシタ年期賣拂ノ既契約ノ分ガ殘ツテ居ルノ

デアリマス、是が大體今日デハ島外「バル
プ」用トシテ年額百四十万石、ソレカラ其ノ
他一般ト致シマシテ大體百万石カラ百五十
万石、是ガ既契約ノ分デ政府ノ義務トシテ
ハ伐採シテ出サナケレバ相成ラヌ數字ニ
ナツテ居リマス、此ノ島外一般用材ハ昭和
十五年デ切レテシマヒマスカラ、十六年
度以降ハ是ガナクナル豫定デゴザイマス、ソ
レカラ島外「バルプ」用ノ期限ハ昭和十八年
マデ契約ガアルモノデゴザイマスカラ、昭
和十八年ニ至リマス此ノ百四十万石ハ落
チテ參ル豫定デゴザイマス、其ノ外ニ今日
過伐ヲ見テ居リマスル原因ハ、先程カラモ
申上ゲマシタ公用材ノ供出、是ハ戰爭スル
爲ニドウシテモナクテハナラナイモノダト云
フノデ、施業案ノ標準伐採量ヲ顧慮スル暇ガ
ナイト云フ性質ノモノデアリマシテ、是ガ
大體三百万石餘デアリマス、是ハ今ノ所ノ
打合セデハ昭和十八年デ終ル豫定ニ相成ツ
テ居リマス、併シナガラ是ハ戰爭ノ爲ニ必
要ナモノデアリマスカラ、戰爭ノ繼續如何
ニ依ツテハ此ノ後ニ續クカモ知レナイと思
ツテ居リマス、ソレカラ其ノ外施業用材ハ
只今丁度炭礦業ニ着手シタバカリデゴザイ
マスノデ、普通ノ坑道ヲ掘進シテ行キマス
坑木ニ要ルダケデナク、坑夫小屋ヲ建テル
トカ、事務所ヲ建テルトカ、發電所ヲ建テ
ルトカ云フヤウナ地上ノ各種ノ建築物ニ大
量ノ材積ヲ要シテ居ルモノデゴザイマス、
隨テ昭和十六年度デハ大體施業用ニ六百六
十万石餘モ充テル豫定ニ致シテ居リマスガ、
是ガ創業當時ヲ過ギマスレバ、大體坑木用
ト修繕用ノ材デ済ムコトニナリマスノデ、
將來ノ計畫ヲ見込ミマシテ増産ヲ致スト致
シマシテモ、昭和十九年以降ハ大體年額四

百万石程度デ宜イノデハナイダラウカ、モ
ウ一ツハ生産擴充ニ依ル「バルプ」増産ノ爲
ニ特別ニ昭和十三年カフ計畫ヲ致シマシタ
資材ヲ餘計ヤツテ居リマスガ、ソレガ大體
百二十四万石、是ハ昭和十七年デ終ル計畫
ニナツテ居リマスガ、是モ國際情勢ノ如何
ニ依ツテマダ繼續シナケレバ相成ラヌカト
思ヒマスガ、大體サウ云フヤウナ條件ガ總テ
ナクナツテ平常ノ狀態ニ立至リマスナラバ、
千八百万石餘ガ年伐量ト云フコトニ相成ツ
テ參リマス、サウシテ標準年伐量ハ千三百
六十八万石デアリマスカラ、ソレニ致シテ
モ尙ホ四百五十万石程度過伐ニナル計算ニ
相成リマス、併シナガラ是ガ施行ニ當リマ
シテハ、過伐ノ分ハ出來得ル限リ先程申シ
マシタ八億五千万石ノ蓄積ト利用可能ノ五
億七千万石ト、其ノ間ノ差ノ二億何千万石
ト云フ未利用ニ屬シテ居ル材積ノ中色々方
法ヲ立テテ利用致シマス、天然更新林
ノ掃除、林内ノ掃除ヲスルコトニ依ツテ出ル
石ト云フヤウナモノニ依リマシテ成ベク補填ヲ
致シマシテ、實際蓄積シテ居ル利用量ヲ害
ハヌヤウニ努メテ居リマス、隨テ此ノ通り
ニ過伐ガ將來ノ蓄積ニ影響スルトモ考ヘマ
セヌガ、併シナガラ大體ソレダケハ過伐ニ
相成ツテ居ルノデゴザイマスカラ、是ガ補
充ヲシナケレバナラヌ關係デ、今回此ノ會
社ニモ造林ヲサセルコトニ致シテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ政府ノ造林計畫モ來年
度豫算ニ於キマシテハ今マデヨリモ大分ノ
増加致シテ居リマス、其ノ他王子其ノ他
ノ民間會社ニモ造林ヲ計畫サセマシテ、今
マデノ計畫デハ一番最初ノ計畫カラ申
シマスナラバ、大正九年ニ立テマシタ計畫
ハ、官行造林三千六百町歩、民行造林三千

町歩、六千六百町歩デ、十五箇年間ニ約十
万町歩ヲ植栽スル計畫デアッタノデアリマ
スガ、之ヲ昭和十二年ニ人工造林一万町歩、
内官行四千、民行六千、天然更新事業ニ依
リ一万町歩、合計二万町歩デ、十箇年間ニ
二十万町歩ト云フ計畫ニ致シタノデアリマ
スガ、之ニ更ニ追加ヲ致シマシテ、人工造
林一千七百町歩殖ヤシ、天然更新事業ヲ三
千町歩殖ヤシテ、四千七百町歩、只今ノ計
畫ヨリモ増加サセルト云フコトデ、十年ニ
二十四万七千町歩ヲ實行スルコト云フヤウナ
計畫デ今マデ參ツタノデアリマスガ、今回
開發會社ヲ設立致シマス共ニ人工造林ヲ
二万六千五百町歩、官行七千五百町歩、一
般民行ガ一万四千町歩、開發會社ガ五千町
歩ト致シマシテ、十五箇年間ニ未利用地三
十五万五千町歩ヲ全部植栽ヲ終リタイ、斯
ウ云フ計畫ニナツテ居リマス、其ノ外天然
更新モ毎年二万町歩ヅツヤリマシテ、四十
一万町歩ノ内今後十五箇年間ニ約三十万町
歩ノ施業ヲ遂行シテ行キタイ、斯ウ云フ計
畫ニ致シテ居リマスノデ、此ノ方ノ人工植
栽及ビ天然更新事業ノ遂行ニ伴ヒマシテ、
以前ノ標準伐採量千三百六十八万石ヨリハ
多少大キイ數字ガ出テ來ルノデハナイカト
思ツテ居リマスガ、先程カラ申上ゲマシタ
ヤウニ、只今ハ何シロ非常時ノ林政ヲ立
ツテ居リマスノデ、此ノ非常時ノ對策
ガ一應終熄ヲ告ゲタ際ニ初メテ此ノ施業案
ヲ改訂致シタイト考ヘテ居リマス、ソレマ
デハ間ニ合ハセデハゴザイマスガ、以前定
メマシタ標準伐採量ニ、戰爭ノ爲メ必要已
ムヲ得ザルモノダケヲ追加シテ伐採シテ行
ク、斯ウ云フ計畫ニ致シテ居リマス

マシタガ、今契約致シテ居リマスモノガ王
子製紙ニハ毎年七百八十万石、人絹會社ニ
對シテ百五十万石、今御話ノヤウニ島
外ハ百四十万石、是ハ王子系ノ會社ノヤウ
ニ聞イテ居ルノデアリマスガ、サウ致
シマス、是ハ年限ガ切レタカラト云ウ
テ直グ止メテ宜イ、斯ウ云フコトニハ
ナラナイデハナイカ、今ノ御話デハ年限ガ
切レテ居ルカラモウヤラスデモ宜イノダ、
斯ウ云フコトニナルト會社其ノモノノ經
營モ出來マセヌシ、又繼續スルコト云フ
ナラバ今ノ石數ガ、大變計算ガ狂ツテ
來ルト思フノデアリマスガ、是ハモウ期限
ガ切レタナラバ一切サウ云フモノハヤラス
デモ宜イト云フヤウニ見テ居ルノデゴザイ
マセウカ、其ノ他或ハ個人ニ原木トシテヤ
ツテ居ルモノガ二百八十万石程アル、今ノ御
話デハ百數十万石ト云フコトデゴザイマシ
タガ、私共ノ聞イテ居ル所デハ二、三百万
石ト云フ計算モアリマス、ソレハ兎ニ角ト
致シマシテ、契約ガ切レタ場合ニハ全ク打
切ルノデアアルカ、恐ラクソレハ困難デアラ
ウト思ヒマス、ソコデ若シ打切ラナイナラ
バ此ノ計算ノ基礎ニ間違ヒハ來ナイカ、此
ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒマス

○小河政府委員 島外「バルプ」用材ハ王子
ダケデハナクツタト記憶シテ居リマス、王
子ト北越製紙、樺太木材此ノ三社ニ大體供
給致シテ居リマスガ、是ハ期限ガ切レバ
打切ル豫定ニ致シテ居リマシテ、其ノ原料
ハ各會社トモ他ノ地方カラ求メル準備ヲサ
レタイト申合セハ致シテ居リマス、今日蓄
積ト伐採量トノ比較ヲ取ツテ見マス、樺
太ニ於キマシテハ蓄積ニ對スル伐採量ハ他
ノ地方ヨリモ餘程過度ニ相成ツテ居リマス、

若シ「バル」事業、製紙事業ト云フモノガ
國策上眞ニ必要トアツテ、此ノ工場ヲ動カ
ス必要ガゴザイマスナラバ、今マデ伐採量
ノ輕イ地方カラ増伐シテ是ガ原料ヲ供給ス
ベキデアルト實ハ考ヘテ居リマス

○杉山委員 モウ一點伺ヒマス、今ノ御話
ニ依ツテ國有林野ノ造林面積ハ大體六十万
町歩程アル、此ノ中天然更新スルモノガ
約四十万町歩程アル、斯ウ云フ御話ニ伺ヒ
マシタガ、天然更新ナリ、人工造林ナリ致
シマスル大體一町歩ノ費用ハドノ位ノ目安
ニナツテ居リマスカ、事務當局デ御分リデ
アリマシタラ御示シ戴キタイと思ヒマス

○田畑説明員 一町歩ノ經費ハ概松ニ於キ
マシテハ苗木代ガ六十圓八十九錢、植付費
ガ九十九圓八十一錢、補植ノ苗木代ガ六圓
九錢、此ノ植付費ガ七圓二十二錢、手入費
ガ五十九圓七十六錢、除伐費ガ三十三圓十
二錢合計二百六十六圓九十九錢ニナツテ居
リマス、是ハ植付ダケデナシニ、將來相當
大キクナツテ後ノ除伐ノ經費マデ見込シ
モノデアリマス、ソレカラ概松ニ於キマシ
テハ苗木代ガ七十二圓二十四錢、植付費ガ
前ト同様九十九圓八十一錢、補植ノ苗木代
ガ七圓二十二錢、植付費ガ七圓三十二錢、
手入費ガ五十九圓七十六錢、除伐費ガ三十
三圓十二錢合計二百七十九圓四十七錢ニナ
ツテ居リマス、ソレカラグイ松ト申シマシ
テ、コチラノ信州落葉松ニ似タ種類デアリ
マスガ、其ノ造林ヲヤリマスノハ苗木代ガ
四十七圓五十九錢、植付費ガ九十九圓八十
一錢、是ハ前ト同ジデアリマス、ソレカラ
補植ノ苗木代ガ四圓七十六錢、植付費ガ七
圓三十二錢、手入費ガ五十九圓七十六錢、
除伐費ガ三十三圓十二錢、合計二百五十二

圓三十六錢、斯ウ云フ經費ニナツテ居リマ
ス

○杉山委員 分リマシタ、サウスルトサウ
云フ費用デ、此ノ六万町歩ノ森林經營ヲ、本
會社ガヤツテ行クコトニナルノデアリマセ
ウガ、大體此ノ六万町歩ヲ本會社ハ何年位
ニ、栽植シテシマフト云フ豫定ニ相成ツテ
居リマスカ

○小河政府委員 十五箇年間ニ六万町歩ノ
栽植ヲ終ル豫定ニ致シテ居リマス

○杉山委員 是デ私ノ質問ヲ終リマス

○沖島委員長 手代木隆吉君

○手代木委員 此ノ開發會社ノ設立ノ趣旨
ハ、提案以來御伺ヒ致シテ居リマスノデ、
其ノ目的ハ大體分ツテ居ルノデアリマスガ、
之ニ關聯シテ色々懸念サレルヤウナコトガ
ゴザイマスノデ、其ノ主ナルモノニ付テ御
意見ヲ伺ヒタイと思ヒマス、先ヅ此ノ會社
ガ出來マシタ後ニ於キマシテモ、此ノ樺太
ノ經營ニ對シテハ、從來國庫カラ相當ナ補
給金ガ出テ居ル譯デアリマスガ、此ノ會社
ガ出來マシタ爲ニ、サウ云フヤウナモノノ將
來ノ國庫ノ支出ガ、減ルヤウナコトガアル
ノデハナイカ、開發會社ガ出來テ或ル事業
部面ヲ擔當スルカラ、隨テ色々施設ニ要
スルヤウナ經費ヲ、其ノ方ニ負擔サセルヤ
ウナ關係デモ生ズルコトガ、アルノデハナ
イカト云フヤウナ懸念ガアル譯デスガ、イ
ヤ、サウ云フコトハ決シテナイ、益、必要ナ
モノハ今後ト雖モ出シテ、所謂日本ノ國土
計畫ノ上カラ言ツテ、特ニ樺太ニハ益、重
キヲ置イテヤルノダト云フヤウナ當局ノ御
方針デアルノカ、サウ云フ點ニ付テ大臣カ
ラ御意見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○秋田國務大臣 只今手代木サンノ御尋ネ

ノ意味ハ樺太開發株式會社ト云フヤウナモ
ノガ設立セラレテ、會社ガ國策トシテ行フ
ベキ仕事ノ或ル部分ヲ擔任スル結果、樺太
廳トシテ國ガナスベキ仕事ノ一部ガ其ノ方
ヘ移ル結果トシテ、國ノ仕事ガソレダケ減
ルノデアルカラ、隨テ國費トシテ補給スベ
キヤウナモノニ付テモ考慮シタル結果、幾
ラカ減殺セラレルト云フヤウナコトニナリ
ハシナイカ、又サウ云フコトヲヤル考ヘガ
アリハシナイカ、其ノ結果トシテ自然樺太
ノ大イナル開發ガ、減退スルト云フヤウナ
虞モアリ得ルコトデアアル、斯ウ云フ御意見
カラノ御質問ト拜察シタルデアリマスガ、
左様ナコトハ斷ジテナイと思ツテ居リマス、
成程國策會社ガ設立セラレテ、一部ノ仕事
ガ會社經營ニナル譯デアリマスケレドモ、
樺太ノ持チマスル使命ハ、中々重大ナルモ
ノガアラウト考ヘマス、今後我が國ト致シ
マシテハ、現下ノ國際情勢カラ致シマシテ、
東西南北八方ニ發展ヲ致シテ行カケレバ
ナリマセヌノデ、北進ト云フ上カラ致シマ
シテハ、樺太ナドノ持チマスル使命ハ相當
重大ナルモノデアリマス、サウシテ今後多
多益、大イニ努メテヤラナケレバナリマセヌ
コトデアリマスカラ、樺太ニ對シマシテ、
此ノ開發會社ガ出來タノダカラ、國トシテ
ハ仕事ヲ會社ニ任シテ置イテ、國ノ仕事ヲ
閑却シテモ宜イナドト云フコトハ、到底考
ヘ得ラレナイコトダト存ジテ居リマス

○小河政府委員 細カイ點ニ付テ一、寸私カ
ラ申上ゲテ置キマス、大臣ガ只今御答辯ニ
ナツタ通りデアリマシテ、以前ハ補給金ヲ
一般會計カラ戴イテ居リマシタガ、只今ハ
補給金ハ戴イテ居ラナイノデアリマス、唯
石炭増産ノ關係デ増産獎勵金、振興開發獎

勵金、買取補償金ト云フヤウナ種類ノモノ
ハ、樺太カラ出シマス總金額ヲ一般會計カ
ラ戴イテ、ソレヲ樺太廳ガ取次イデ業者ニ
ヤツテ居リマス、是ダケガ補給金トシテ殘
ツテ居リマシテ、此ノ外ニハ補給金ハアリ
マセヌノデ、却テ樺太廳特別會計カラ臨時
軍事費特別會計ニ約一千万圓ノ繰入ヲ致シ
テ居リマス、左様ナ事情デアリマスノデ、
此ノ會社ガ出來マシテ、國ノ仕事ガソチラ
ニ移ルト云フヤウナ點ハナイノデアリマス
ガ、強ヒテ申シマスナラバ、來年度ノ豫
算ニ計上シテ居リマス南名好ノ炭田ヲ經營
致シマス爲ニハ、是ハ國有ノ鑛區デアリマス
カラ、豫算ニ計上致サナケレバナリマセヌ、
此ノ仕事ノ經費トシテハ、事業費七十二萬
六千五百六十圓ト云フモノヲ計上致シテ居
リマス、是ガ會社ノ經營ニ移リマス、此
ノ豫算ダケハ落チテ來ル計算ニ相成リマス、
隨テ多分昨日御尋ネガアツテ御答ヘシタカ
ト思ヒマスガ、此ノ鑛區ニ對スル増産獎勵
金ハ只今出シテ居リマセヌガ、是ガ民營ニ
ナツテ此ノ會社ノ經營ニナリマス、此ノ
會社ノ經營ニ對スル石炭ノ獎勵金ト云フモ
ノハ、一般會計カラ殖エテ參ル結果ニ相成
リマス

○手代木委員 大臣並ニ長官ノ御説明ヲ伺
ヒマシテ、懸念ハ去ツタノデアリマスガ、
只今長官ノ御話ニ補給金ハ既ニ無クナツタ
ト云フ御話デスガ、私ノ申上ゲマシタノハ
單ニ補給金ト云フ意味デナク、國費全部ヲ
考ヘタ意味デアリマシタ、サウ云フヤウナ
コトニ影響ナク、益、此ノ國費モ多ク樺太
ニ注込マレルヤウナコトニ、當局トシテハ
御考ヘテ願ハナケレバナラヌと思フノデア
リマシテ、其ノ點カラ申上ゲタ譯デアリ

マス

ソレカラ次ニ伺ヒタイノハ、樺太モ官民ノ非常ナ努力ニ依ツテ、非常ニ開發ガ進シデ参リマシタノハ、洵ニ國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘナイコトダト思フノデアリマス、尙又今回拓務省トシテ斯ウ云フ會社マデモ拵ヘテ、開發ヲ促進サレルト云フヤウナコトニ對シテモ、私ハ洵ニ結構デアルト贊意ヲ表スルノデアリマスガ、唯茲ニ考ヘラレマスルコトハ、今申上ゲル通り官民ノ努力ニ依ツテ、樺太ガ大イニ開發ヲ促進サレテ來テ居ル、例ヘバ非常ニ長距離ノ私設鐵道ナドモ買收セラレテ、交通關係ガ一部整備サレタ、港灣ノ設備モ不完全ナガラ、ソレモ今日論見ヲ立テ着々ツテ居ラレル、又事業關係ニシマシテモ、石炭ノ増産ト云フコトニ付テハ、先程長官ガ數字ヲ擧ゲラレテ御説明ニナツタ通り、非常ニ増産ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ事業家モ非常ニ意氣込デ今日ヤツテ居ル、或ハ先程御擧ゲニナツタ三井、三菱、王子ノヤウナ、大キナ財閥ノ外ニ、或ハ又國策會社アル日本製鐵會社モ、或ハ日本發送電會社モ、石炭ノ増産ヲ樺太ニ求メテヤツテ居ル、又樺太ノ人造石油會社モ出來テ、必要ナ國策事業モヤルコトニナツテ居ル、色々見マス、今非常ニ促進サレタ機運ニナツテ來テ居リマス、ソレニ對シテハ色々官ノ助成モ相當ニアル譯デアリマスガ、ソレニモ拘ラズ、一體何故ニ此ノ會社ヲ拵ヘテヤラナケレバナラスカ、此ノ設立趣意書ニ依リマスレバ、今日ノ時勢ニ適シタ、所謂高度國防國家ノ建設ヲスル建前カラ、一種ノ重點主義トデモ申シマスガ、サウ云フ見地カラハ立デタヤウデアリマスガ、從來官ガ助成シテ居ルヤウナコトヲ、今申

シタヤウニ非常ニ旺盛ナ企業熱ト、意氣込トヲ以テ民間ニ於テモ、國策會社ニ於テモヤツテ居ル、斯ウ云フモノニ對シテ何カ助成ヲ加ヘ、ヨリ一層是ガ開發ノ出來ルヤウニヤツテ行ツタナラバ、茲ニ此ノ國策會社ヲ立テナクテモ、目的ヲ達セラレルノデハナイカ、特ニ此ノ會社ヲ設ケテヤラナケレバ、満足デナイト云フ其ノ理由ガアルガラウト思フノデアリマス、御承知ノ通り多クノ國策會社ハ皆失敗デアリマス、失敗ラシテ、サウシテ民間カラ言ヘバ、一種ノ反感ナドモ買ハレタリスルヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フモノヲ茲ニ設ケラレル、而モ臺灣ニハ臺灣殖産株式會社ガアツテ、三千万圓ノ資本デ設立サレテ居ル、然ルニ樺太ニハ五千万圓ノ資本ヲ以テ此ノ會社ヲ拵ヘル、資源トカ色々關係カラ申シマスレバ、臺灣ノ方コソ大キナ會社組織デヤツタ方ガ有利デアラウト思ハレルノデアリマスガ、樺太ガ五千万圓デ、臺灣ヨリモ多イト云フヤウナ點、サウ云フ點ニ付テ、ドウシテモ此ノ會社ニ依ツテヤツタ方ガ有利ダト云フ、特別ナ理由ガアルガラウト思ヒマス、當局ニ於テモ其ノ點ハ十分御探究ニナツタコトデアリマセウカラ、ソレ等ノ點ヲ大臣カラ承リタイト思ヒマス

○秋田國務大臣 過般閣議ニ於テ、經濟新體制要綱ト云フモノヲ決定致シマシタ、成ベク現下時局ノ要請ニ依ツテ經濟新體制ヲ立テ行クノデアアルガ、總テノ企業ハ原則トシテハ民有民營デアル、所謂民營ヲ原則トシテ、已ムヲ得ザル特殊ノ事情ノナイ限リハ、國營トカ、或ハ國策會社トカ云フヤウナモノハ、ヤラナイト云フ方針ヲ立テタノデアリマス、隨テ此ノ樺太開發株式會社

ト云フモノヲ創設致シマスルコトハ、此ノ經濟新體制ノ原則ト致シマシテハ、所謂例外デ、特殊ノ事情ニ基クモノト御承知ヲ願ハナケレバナラスノデアリマス、ト申シマスノハ、今後ノ民間ノ企業モ今日ノ時勢ノ要求デアリマスカラ、所謂公益優先ノ根本理念ニ基イテ行ハレルモノデアアルコトハ勿論デアリマスケレドモ、何ヲ申シマシテモ、民間デアリマスルコトハ、ヤハリ營利ト云フコトヲ全然度外ニ置ク譯ニハ參ラナイノデアリマス、相當程度ノヤハリ企業ニ對スル利潤ト云フモノガ豫定サレテ掛カルコトナノデアリマスルガ、本會社ノ樺太ニ於キマスル使命ハ、事業ノ性質カラ致シマシテモ、ドウシテモ營利ト云フモノヲ離レテ、樺太ノ開發ト云フ國家的要望、要請ニ即應致シマスヤウニアラネバナラスト云フコトデアアルノデアリマスカラ、何レニ致シマシテモ、之ヲ民間企業ニ一任致ス譯ニハ參リニクイ、即チ民間企業ニ任シテ置キマシタノデハ、サウ多額ノ利潤ガ豫期致シ兼ネル事柄デアリマスカラ、自然相當程度ノ大資本ヲ要シマスル是等ノ仕事ニ付テ、企業ガ國ノ要望セラレル程度ニ急速ニ、敏活ニ拂ツテハ參ラナイガラウト考ヘマシタ結果、經濟新體制ノ原則ノ例外ト致シマシテ、之ヲ創設スルコトノ必要ヲ感ジマシテ、茲ニ御協賛ヲ願フコトニ相成リマシタ次第デアリマス

尙ホ臺灣殖産會社アタリノ資本金ト、此ノ樺太開發株式會社ノ資本金トガ、一方ハ三千万圓デアアルニ拘ラズ、一方ハ五千万圓デアツテ、聊カ比較ノ上ニ於テ大ニ過ギハシナイカト云フ意味ノ御考ヘト存ジマスルガ、本會社ノ事業内容等ヲ仔細ニ御檢討

下サイマシタナラバ、五千万圓程度ノ資本金ヲ以テスル此ノ會社ノ仕事ハ、決シテ大キニ過ギルト云フ御懸念ハ起リ得ナイノデハナイカト思ヒマス、申上ゲルマデモナク、五千万圓ト申シマシテモ、總テ現金出資デハナイノデアリマシテ、國ノ方デ持チマスル出資ハ、現物出資デアルト云フヤウナ點モ御考慮サツタナラバ、其ノ間ノ御懸念ハ、自然御解キ下サルコトガ出來ルガラウト思フノデアリマス

○手代木委員 只今ノ大臣ノ御説明デハ、マダ私トシテ十分ニ了解ノ行キ兼ネル點ノアリマスコトハ、甚ダ遺憾デアリマスガ、大體ノ御意思ハ分ル譯デアリマス、先程申シマシタ通り民間ノ企業熱ガ盛ンデ、サウシテ而モ所謂重點主義ノ事業ニ皆ガ邁進シテ居ル、サウシテ今度此ノ會社ニヤラセラレル營業ノ項目ヲ見マス、第十二條ニ掲ゲデアリマス通り鑛業、林業、農業及ビ畜産業、ソレカラ第二ガ農林畜産物ノ加工事業、第三ガ經濟開發ノ爲必要ナル資金ノ供給、是ガ主ナル仕事デスガ、此ノ石炭増産ノ方ハ目論見ガ數年後ニ百万「トン」ト云フコトデスケレドモ、是ハ今現ニ樺太ハ石炭ノ企業熱ガ盛ンデアル、斯ウ云フノデアリマスカラ、強ヒテ此ノ開發會社ニ於テ之ヲヤラスデモ——國ガ配當ノ補給マデスルヤウナ所謂引合ハナイ仕事ハ國策會社ニヤラセル、石炭開發事業ハソレニ該當シナイモノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、ソレカラ林業ノ方ノ植栽ノ方面ガ成程ハ御話ニビツタリ當嵌マルト思フノデアリマス、畜産業モ引合ハナイコトデスカラ、是モ當嵌マルデアリマセウ、所ガ官行斫伐ヲ引受ケタルト云フヤウナコトハ、現ニ官

行デヤツテ居ルノデアリマスカラ、強ヒテ此ノ開發會社ニ官行事業ヲヤラセナケレバナラスノデアルカ、サウ云フヤウナ所モ一寸私ニハ理解ガ出來ナイノデアリマス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ見マストヤハリ成ベク民間デヤリ得ナイ所ノ仕事ヲヤルト云フコトニナル、ソレカラ資本金ハ臺灣拓殖ヨリ多イト云フコトハ、是ハ私ハ非難スル意味デ申シタノデハナクシテ、洵ニ多イ程結構デアルノデアリマシテ、臺灣ガ三千万圓ナノニヨク樺太ニハ五千万圓御出シニナツタモノダト、斯ウ實ハ當局ノ御英斷ニ敬意ヲ表シテ居ルノデアリマスガ、多イ程結構ナノデアリマス、多イ資本ヲ以テヤル仕事ハ、樺太ハ天然條件ガ頗ル惡イノデアリマスカラ、其ノ惡イ方ヲ此ノ國策會社ノ力ニ依ツテ補ツテ行クト云フコトガ原則トシテ考ヘラルベキモノダト思フノデアリマスガ、ソレナラバ石炭ノ増産ト云フヤウナコトマデオヤリニナラヌデモ——此ノ石炭増産ハ是ハ容易ナラザル資本ヲ食フコトハ御承知ノ通りデアリマス、百萬「トン」ヲ出スノニハ、普通ノ起業費ヲ考ヘテモ「トン」當リ三十圓、三十五圓、樺太ニナツタラモツト「トン」當リノ起業費ガ多イダラウト思フノデスガ、サウスルト假ニ「トン」當リ三十圓トシマシテモ百萬「トン」ノ設備ヲ完成スルニハ三千万圓ノ資本ヲ投ジナケレバ百萬「トン」ガ出サレナイト云フコトニナルノデアリマシテ、百萬「トン」ノ石炭、是ハ今日洵ニ大事ナモノデアリマスケレドモ、ソレダケノ金ヲ掛ケルナラバ、外ノ助成力何カノ方法ニ依ツタ方ガ遙カニ餘計產出スルノデヤナイカト云フヤウナコトヲ考ヘラレルノデ、開發會社ノ事業トシテハ少シ其ノ重點

ノ置キ方ガ間違ツテ居ルヤウナコトニナルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ感じガスルノデアリマス、尙又之ニ關聯シテ御聽キシタイノハ、開發會社ハ樺太島民ノ多年ノ要望ノ一ツデアアルコトモ承知致シテ居リマスガ、ヤハリ樺太島民ハ開發會社ニ依ツテ石炭ノ開發ヲ大イニヤツテ貰ヒタイト云フ要望デアアルノデアリマシテ、何モ要望ニ基イテ是ガ出來タト云フコトヲ申スノデハアリマセヌガ、假ニ要望ヲ幾分御取入レニナツタトスレバ、其ノ石炭ノ増産ニ全力ヲ入レテ貰ヒタイ、資本ノ大部分ハ結局之ニ注込ムコトニナルノデアリマスシ、而モ現金ヲ殆ド之ニ注込ム、サウシテ政府ノ出ス所ハ所謂財物出資ガ多イノデアリマスカラ、サウスルト現ナマヲ其ノ一石炭開發ニ殆ド全部注込シマツテ、他ノ方ハ、第三ニ掲ゲデアリマス所ノ資金ノ供給モ十分ニ行カナイ、其ノ外ノ所謂民間デハ中々ヤリ得ナイト云フ企業ニハ大キナ力ヲ注ぎ得ナイ結果ニナリハシナイカ、斯ウ云フ懸念ヲ私ハ持つノデアリマシテ、ソレ等ニ付テノ見透シヤ、色々之ヲ立案サルルニ付キマシテ、サウ云フ點マデ十分御考慮ニナツタコトデアリマセウカラ、其ノ點ハ是ハ大臣カラトハ申シマセヌ、ドナタデモ宜シウゴザイマスカラモウ一度御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○北島政府委員 便宜私カラ御説明申上ゲタイト思ヒマス、此ノ會社ヲ特殊會社ニシタノハドウ云フ譯カト云フコトニ對シマシテハ、先程大臣カラ御答ヘニナリマシタ通りデゴザイマスガ、尙ホ一寸私補足シテ置キタイト思ヒマスノハ、言フマデモナク現在ノ情勢カラ見マシテ、石炭ト木材ハ凡ル觀點カラ見マシテ緊急差措キ難キ事業デア

リマシテ、官デアラウト、民デアラウト、特殊會社ノ形態デアラウト、要スルニ特ニ石炭ニ付キマシテハ非常ナル緊急ノ必要ニ迫ラレテ居ルト云フコトハ申スマデモナイコトデアルト思フノデアリマス、ソレデ唯手代木サンノ仰シヤル通り石炭ダトカ、木材ダトカニ付キマシテハ民間ノ方面デハ現ニ樺太デ澤山ヤツテ居リ、又木材ニ付テモヤハリ同様ダカラ何モ強ヒテ特殊會社ヲ拵ヘナクテモ宜イデハナイカト云フ御疑問ガ御起リニナルノモ御尤モダト思フノデアリマス、唯吾々考ヘマシタノハ、一方ニ於キマシテ御承知ノ通り食糧關係ガ非常ニ逼迫シテ居リマシテ、特ニ樺太ノヤウナ殆ド自分デ何モ食糧ノナイ所デハ、去年ノ様子カラ見マシテモ、又本年ノ需給關係カラ見マシテモ、決シテ樂觀ヲ許サナイ、是モ或ル程度——強ヒテ米デナクテモ、セメテ何等カノ形ニ於テ食糧ヲ、樺太自體ニ於テ出來ルダケ確保シタイ、斯ウ云フ必要ガ、非常ナル緊急問題トシテ、ヤハリ又當面ノ吾々ノ何トカシナケレバナラヌ問題ノ一ツダラウト思ヒマス、併シナガラ食糧ノ自給、農耕地ノ經營ト云フ事柄ニ付キマシテハ、是ハ手代木サンモ恐ラク御承知ノヤウニ、從來亞寒帶ノ農業トシテ、農業ノ經營ハヤツテ居リマスケレドモ、採算のニ見マシテ決シテ有利ダトハ申上ゲ兼ネルダラウト思ヒマス、現ニ吾々ノ本會社ノ收支計算ニ於キマシテモ、當初數年間ハ隨分赤字ガ出ル、最後ニナリマシテモ、サウ大シテ有利ナ事業ダトハ考ヘテ居リマセヌ、恐ラク之ヲ獨立ノ企業トシテ放任シテ置キマシタナラバ、到底是ハ成立シ得ナイノデアリマス、ト申シマシテ之ヲ國營デヤル譯ニモ參リマセヌシ、ソレデ斯ウ云フ比

較的有利ナ石炭ダトカ或ハ木材ノ事業ヲ併セテヤラセルヤウニスルト云フノガ、現下内外ノ情勢カラ見テ特ニ必要デアル、ソレカラ造林ニ付キマシテハ、是ハモウ午前中色々質疑應答モゴザイマシタガ、造林致シマシテモ、四十五年、或ハ場合ニ依ツテハ八、九十年ノ歲月ヲ要スルヤウナ事業デアリマシテ、到底造林ノミヲ營利事業トシテ考ヘルト云フコトモ是亦不可能デアル、從來カラ樺太廳ニ於キマシテ直營モヤツテ居リマスガ、他方又王子ニモヤラシテ居リマスケレドモ、是亦王子ガ「バルブ」會社ノ經營ノ木材ヲ樺太ニ仰イデ居ルカラコソ——一方ニ有利ナ事業ガアルカラコソヤツテ居ルノデアリマシテ、是ノミヲ單獨ニヤルト云フコトハ民間デハ考ヘラレナイ、隨ヒマシテ斯ウ云フ石炭ダトカ、木材ダトカ比較的採算上有利ナ事業ヲ併セテヤラセルト云フコトニシナケレバ、到底事業ハ圓滑ニ發展シナイ、斯ウ云フヤウナ見地カラ特ニ國策會社ヲ拵ヘル必要ガアラウ、サウシテ之ニ對シテ或ル程度ノ保護ヲ與ヘルヤウニシテ貰ヒタイト云フノガ、吾々ガ拵ヘマシタ一ツノ觀點デアリマス、ソレカラ資本金デゴザイマスガ、臺灣拓殖ガ三千万圓デコツチガ五千万圓ト云フノハ「バランス」ガ取レナイデヤナイカト云フ御話デアリマシタ、此ノ臺灣拓殖ニ付キマシテハ御承知ノコトト思ヒマスガ、大體從來總督府デ持ツテ居リマシタ農耕地ヲ現物出資シテ、政府ノ持株トシ、片方ニ於テハ民間資金ヲ吸收シテ農業ノ經營ヲ一方ニ於テヤラセ、又其ノ收益ヲ以テ外ノ一般ノ拓殖事業、更ニ臺灣外ノ拓殖事業マデ手ヲ伸バサセヨウ、是ガ爲ニ色々又保護助長ノ途ヲ講ズルト云フ建前デアノ會社ハ出來テ

居リマシテ、農耕地ノ評價額ガ大體千五百萬圓見當ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、ソレデ南洋拓殖ノ例モゴザイマスガ、是モ同様デゴザイマス、大體政府側ノ出資ヲ半分々ト云フノハ、別ニサウシナケレバナラヌト云フ原則モゴザイマセヌガ、偶、半分程度ハ政府出資ニシテ、政府ノ持株ニ對シテハ劣伍株トシテ、民間配當ハ六分トカ七分トカ、出來ルダケサウ云フ配當ヲ事實ニ於テ保證シテヤル、サウ云フヤウナ強力ナ保護ヲ與ヘテ、場合ニ依ツテハ國策上必要トアラバ必ズシモ有利デナイ事業モヤラセヨウト云フ趣旨デ出來テ居ルコトハ御承知ノ通りダト思ヒマス、臺灣ノ方ハ偶、政府出資ノモノガ丁度一千五百萬圓ニナリマシタノデ、其ノ倍ノ三千萬圓、南洋拓殖ノ資本金ハ二千萬圓デアリマスガ、アソガウル、其ノ他ノ燐礦區ガ約千萬圓ト云フノデ、是モ大體半分々ト云フコトニ致シタ譯デアリマス、ソレカラ五千萬圓ノ資本金ニ付キマシテハ、只今手代木サシモ仰シヤイマシタ通りニ、百萬「トン」ノ出炭ヲスルニ付キマシテハ、此ノ計算デハ大體「トン」四十圓、四千萬圓費用ガ掛ルト云フ計算ニナツテ居リマス、ソレデ台拓當時ノ、色々其ノ後物價ガ騰貴致シマシテ、御承知ノヤウニ炭礦ノ建設費其ノ他モ非常ナ騰貴ヲシテ居リマスノデ、ドウシテモ五千萬圓程度ノ資金ハ事實上必要デアラウ、斯様ナ見地カラ五千萬圓ト云フコトニ致シタノデアリマス、大體ソレデ御承知ヲ願ヒマス

○手代木委員 只今ノ御話デ所謂不利ナモノト有利ナモノヲ抱キ合ハシテヤラナケレバナラス所カラ、斯ウ云フモノヲ考ヘタト云フ御話デアリマスガ、成程左様ナコトヲ

考ヘマス、斯ウ云フコトニシナケレバ會社ガ成立ツテ行カヌト云フコトニモナルダラウ、サウ云フ御趣旨デアリマスナラバソレモ已ムヲ得ナイコトデアルト先刻ノ大臣ノ御話ト合セテ、初メテ斯ノ如クサレタコトノ了解ガ付イタ譯デアリマス、ソコデ次ニ伺ヒタイノハ此ノ國策會社ガ出來タガ爲ニ既存ノ他ノ事業ヲ壓迫スルヤウナ虞ハナイカ、斯ウ云フ懸念ガ聊カ頭ノ中ヲ去來スルノデアリマス、北海道ニモ色々ナ國策會社ガアルノデスガ、ソレヲ見マスドモ旨ク行ツテ居ラナイ、サウシテ却テ目的ニ反シテ自分ノ會社ノ事業ガ旨ク行カナイバカリデナク、他ノモノノ伸ビントスル力ヲ阻得スルヤウナコトガ相當アルノデアリマス、是ガ民間カラ國策會社ガイツモ非難サレル主ナル理由トナルノデアリマス、北海道ナドニモ坑木ノ會社ガアル、所ガ此ノ會社ハ自分デハ坑木ノ伐採モ何モヤラス、又、直營ヲヤラナイ、手足ヲ持ツテ居ナイ、サウシテ北海道ハ御承知ノ通り非常ニ礦物資源ノ増産ヲヤツテ居リマスガ、ソレヲ一手ニ配給スル建前デ俄ニ作ツタノデス、其ノ機能ヲ餘リ發揮シテ居ラナイ、サウシテ今マデ外ノ方デ會社ガ、或ハ直營ヲシテ坑木ナドヲ辨ジテ居ツタモノヲ、必ズ此ノ坑木會社ノ手ヲ經ナケレバナラスコトニナツタ、サウスルト金額ニシテ年二千萬圓カ三萬圓ニナルヤウデスガ、ソレニ對シテ三分トカ五分トカノ口錢ヲ取ル、其ノ配給ガドウシテモ一遍其ノ會社ヲ通シテ行カナケレバナラスカラ敏速ニ配給ガ出來ナイ、サウシテ會社ノヤリ方ガ甚ダ拙劣デアリマスカラ色々ナ疑惑ナドヲ生ジテ、會社ヲ呪フヤウナ結果ニナル、ソレカラ又鑛山ニ對スル物資

ヲ配給スル會社ガ出來マシタガ、是ハ皆民間ノ株ヲ集メテヤツテ居ルノデアリマス、所ガ此ノ會社カラ大キイ事業家ノ方ハ、或ル程度ノ配給ヲ受ケルケレドモ、小サイ方ハ一俵ノ米ノ配給モ受ケタコトガナイト云フヤウナコトヲ聞クノデアリマスガ、サウ云ツタ例ガ澤山アルノデアリマス、今此ノ會社ガ出來タ、百萬「トン」ノ石炭増産ノ爲ニ資材ガ要ルト云フコトニナル、企畫院ハ樺太ニ割當テル資材ガ是レ「ト云フコトニナレバ、ソレヲ今度適當ニ配給シナケレバナラス、其ノ配給ヲスルノニ斯ウ云フ餘分ナモノガ出來タ爲ニ、外ノモノガ今マデヨリ擴張出來ナイト云フヤウナ色々ナ影響ヲ受ケルコトガアルノデヤナイカ、又例ヘバ農耕地ノ開發ニシテモ、「トラクター」ヲ百町歩ニ一臺ヅツ設備スルト云フヤウナ長官ノ御説明デスガ、之ヲモ今日サウ澤山ハ得ラレナイ、サウスルト他ノ方デ折角「トラクター」ガ欲シイヤウナ場合ニモ、此ノ會社ノ方トシテモ、新設會社ダカラ何トカシテ成績ヲ擧ゲテ行カナケレバナラスト云フ會社當局ノ考ヘガソコニ赴クデアリマセウカラ、當局ニ對シテモセツセトネダルニ違ヒナイ、サウナツタ場合ニ國策會社デ半分資本ヲ出シテ居ルヤウナ關係ガアルカラ、動モスレバ優先シテ此ノ方ニ配給ヲスル、假ニ配給セヌデモ民間デハドウモ不公平ダト云ツテサウ云フ所ニ疑惑ヲ持ツヤウナコトニナル、或ハ此ノ會社ガ或ルモノヲ統制デモスルヤウナコトニナルト、暫クノ間敏速ニ色々ナ經濟活動ガ出來ナイヤウニナル、或ハ此處ノ三ニアル經濟開發ノ爲ニ必要ナ資金ノ供給ト云フコトニナルト、此ノ會社ハ資金ヲ供給スルカラト云ツテ申込デ金ヲ借りル

場合ニハ手ツ取早クヤツテ呉レナイコトニナル、結局怨ミヲ買フコトニナル、御承知ノ如ク昨年出來タ日本石炭株式會社ガ各石炭業者ニ對シテ資金ヲ供給スルコトニナツテ居ルガ、甚ダ是ハマズイ、サウシテ殆ドアノ日本石炭株式會社ガ資金ノ融通ト云フコトヲ今日ハマダシテ居ラスト斷言シテモ宜シイ、ヤツテ居タ所ガ頗ル僅カナモノ、而モ非常ナ高利、民間デ日歩一錢位デ借りラレルモノヲ、石炭會社ヘ行ツテ借りレバ一錢九厘モ取ラレル、此ノヤウニ非常ナ高利ノ金ヲ貸シテ居ルノガ日本石炭株式會社ノ營業ノ實際デアリマス、此ノ會社ガ出來タ爲ニ、既存ノ事業家ガ事業ノ上ニ聊カ何カ不自由デモ感ゼシメルヤウナ結果ニナリハシナイカ、私ハ此ノ會社ガ非常ニ立派ニ成立ツテ行クコトヲ熱望シテ已マナイノデスガ、斯ウ云フヤウナ所ハ餘程注意シマセヌト、成程會社自體ハ増産ガ出來テモ、其ノ代リ反對ニ他ノ事業ガ壓迫ヲ受ケテ増産ガ思フヤウニ出來ナイ、差引キスレバ零、或ハ却テ「マイナス」ニナルト云フヤウナ結果ニナツタノデハ、折角此ノ會社ヲ設立シタ御趣意ニ副ハナイコトニナルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ付テハ十分ニ御考ヘニナツテ居ルコトモアルダラウト思ヒマスシ、又實際ニソソナコトハナイノダ、何モ他ニ差障ルヤウナコトハナイノダ、斯ウ云フ立派ナ見透シヲシテ居ラレルカ、尙ホ附加ヘレバ、例ヘバ農業ヲヤルノデモ、先程杉山君ガ懸念シタヤウニ、外ノ一般勞働者ヲコツチヘ引張ツテ來テ、他ノ個人ノ農業經營ニ影響ヲ及ボストカ、企業ヤル場合デモ同ジヤウナコトガ部分的ニ起ラストモ限ラスノデアリマシテ、サウ云フコトハ此ノ

會社ヲ實際ニ營業シテ、此ノ目的ニ向ツテ進マレル上ニ於テハ工合ガ惡イノデアリマシテ、此ノ會社設立ノ御趣旨ハ、只今大臣ノ御話ニナツタヤウニ、民間ノ及バナイ所ヲ是ガ大イニヤル斯ウ云フヤウナ建前ヲ何處デモ忘レナイデヤツテ戴カスト、ドウモ今申上グルヤウナ懸念ガ私ハドウシテモ去ラナイノデアリマシテ、ソレ等ニ付テノ御意見ハドウデアリマスカ、伺ツテ置キタイ

○小河政府委員 便宜私カラ御答ヘ申上デマス、手代木サシノ御心配御尤モデゴザイマスガ、此ノ會社ガ出來タガ故ニ他ノ會社ノ事業ヲ壓迫致シマシテ、サウシテ却テ全體トシテハ減産ニ相成ルヤウナコトガアリマシテハ、是ハ相濟マナイコトデアリマシテ、此ノ點ニ關シマシテハ嚴ニ監督ヲ致シテ慎シマシムル豫定ニシテ居リマス

ソレカラ資材ノ關係ノコトデゴザイマスガ、資材ノ關係ハ御承知ト存ジマスガ、樺太廳ニ鐵鋼何千「トン」、何百「トン」、斯ウ云フ割當ヲ只今ハ致シテ居リマセスデ、企畫院ニ於キマシテ詳細ニ生産擴充計畫ヲ檢討致シマシテ、南名好ノ炭坑ノ生産擴充ニハ是ダケノ資材ガ要ル、塔路ノ炭坑ニハ是ダケノ資材ガ要ルト云フ算盤ヲ皆彈キ出シマシテ、サウシテソレヲ集積シテ樺太廳ニ割當テテ居リマスノデ、其ノ間ヲ彼此轉用スルト云フコトハ、樺太廳限リデハ到底出來ナイコトデアリマシテ、左様ナ點デ他ノ同業ヲ壓迫スルト云フヤウナコトハ萬々ナイト存ジテ居リマス、又監督上モ十分之ヲ慎シマシムル計畫デゴザイマスノデ、何卒此ノ點ニ付テハ御安心ヲ願ヒタイト存ジマス

○手代木委員 是非懸念ノナイヤウニ十分

一ツ御監督ニナツテ、又此ノ事業ノ成立チマスヤウニ、特段ノ御留意ヲ願ツテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラアト小サイコトデスガ、一、三總メテ御聽キ致シタイ、此ノ會社法ニハ存立期間ガ明示サレテ居ラナイヤウデアリマスガ、何年間トカ云フ期間ヲ定メラレル積リデアリマスガ、ソレカラモウ一ツ、移民ヲ大イニ招來サレテ、定着移民ヲ作ラレルト云フコトハ是非ヤラナケレバナラスコトデスガ、例ヘバ滿洲ガ二十箇年間ニ百万戸ヲ移民スルト云フヤウナコトガアルヤウニ、樺太ハ差當リ何年間ニ何戸、或ハ又將來樺太ガ飽和狀態ニ開發サレタ場合ニハ定着農業移民ガ一體ドレ位アルト云フヤウニ、サウ云フ豫想デモ立テテオイデニナルノデアリマスガ、ソレ等ノコトハ皆適地適作主義ニ依ル食糧ノ自給ト云フコトト大イニ關聯ヲ持ツテ行クノデアリマスガ、ソレ等ノ意味ニ於テ御答ヘヲ願ヒタイ

○小河政府委員 便宜私カラ御答ヘヲ申上デマス、先ヅ第一番ガ此ノ開發會社法ノ中ニ存続期限ノ規定ガナイガドウカト云フ御尋ネデゴザイマス、特別ニ期限ヲ要スルモノハ規定ヲ致シマスガ、是ハ商法ニ於テ別段期限ヲ定メナクテモ宜イト云フコトニ相成ツテ居リマスノデ、此ノ目的タル業務ガ終ルマデハ特殊ノ事情ガ起ラナケレバ存続セシムル、斯ウ云フ考ヘノ下ニ規定ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、其ノ次ハ樺太ノ移民ノ計畫ノ御尋ネデアツタト存ジマスガ、實ハ此處デ甚ダ御恥ヅカシイ話デアリマスガ、樺太ノ久シキニ互ル移民ノ計畫ト云フモノハ、只今ナイト申上デテモ差支ヘナイト思ヒマス、毎年二百五十戸ヅツノ移

民計畫ヲ今マデ通り實行致ス積リデアリマス、此ノ移民ハ本會社ニ依ツテヤラシムルノデハナク、テ今マデ通り樺太廳直接ニ扱フ計畫ニシテ居リマス、ソレデアリマスカラシテ、此ノ會社ニ依ル移民ガドレダケ殖エルカト云フコトハ、樺太廳ノ計畫以外ニ是ダケノモノガ殖エル計算ニ相成ルノデアリマス、ソレカラ是ハ午前中ドナタカノ御尋ネニ御答ヘ申上ゲタカト思ヒマスルガ、一應ハ直營農場トシテ此ノ農場ヲ經營致シマスルガ、農場ガ成功致シマシタ曉ニ於キマシテハ、従業員ニソレノ分讓致シマシテ、定着ヲサセルト云フヤウナコトモ實ハ心組ニハ考ヘテ居リマス、是ハ遠キ將來ノコトデアリマスノデ、マダ此處デ計畫トシテ御話ヲ致スマデハ立至ツテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ將來計畫トシテドレダケノモノガ入ルカト云フコトハ、是モ亦農耕適地ノ詳細精確ナ調べモマダ出來テ居リマセス、只今ノ移民計畫ハ大體一戸當リ十町歩ノ耕地ヲ與ヘルト云フ計畫ニ致シテ居リマスガ、全體ノ適地調査モ終ツテ居リマセスノデ、將來樺太ガ「フル」ニ開發サレタ場合ニ幾万戸ノ農家ガ入ルカト云フ計算ハ實ハマダ立ツテ居ラナイノデアリマス、御諒願ヒマス

○手代木委員 便宜私カラ御答ヘヲ申上デマス、今ノ石炭ノ開發モ、是モヤハリ段々技術ガ進メバ幾ラモ無限ニ石炭ト云フモノハ堀レルト云ヘマスケレドモ、何レハ地下資源ハ涸渇スル時ガ來ルノデアリマス、幸ヒニ森林資源ハ増殖ラシテ繼續ガ出來ル譯デアリマスカラ、ソレニ依ル定着住民ハ大體ノ豫想ハ得ラレルト思ヒマス、ヤハリ食糧自給ト云フヤウナ點カラ言フト、農民ノ定

着ト云フコトニ餘程重キヲ置イテ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ會社ノ方八十箇年ニ一萬町歩位ハオヤリニナルヤウデアリマスガ、今ノ植林事業ノ方ト相關聯シテ居ルコトデアリマシテ、農耕地ニナルヤウナ所ハ固ヨリ是ハ除外ラシテ、其處ニ定着サセルヤウナ計畫ヲ立テナケレバナラスノデアリマシテ、サウ云フ點カラ言ヒマス、將來大體農家ヲ何万戸入レルト云フヤウナコトノ凡ソノ見通シト云フモノハヤハリ立テ置カレルコトガ必要デアラウト思フノデアリマシテ、地下資源ガ涸渇シテ、唯森林ダケニ依ラナケレバナラスト云フヤウナ時ガ將來來ルノデアリマスカラ、サウナルト今ノ「バル」事業ヤ何カノ爲ニ定着スル住民ノ外ニ、ヤハリ農畜業ニ依ツテ定着スル農民ノ方ガ最モ永久性ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フコトハヤハリ大體ノ見透シヲ付ケテ、例ヘバ先刻申シマシタ滿洲ノ二十箇年百万移住ト云フ風ニ大體ノ計畫ヲ立テラレテ、大體ノ豫想ヲ以テ着々オヤリニナルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、ソレダケ附加ヘテ私ノ意見ヲ申述ベテ置キマシテ、是デ私ノ質疑ハ打切りマス

○沖島委員長 次ハ松尾孝之君デアリマスガ、六時頃マデ繼續致シタイト思ヒマス

○松尾(孝)委員 時間ガナイヤウデアリマスカラ簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、先ヅ配付サレマシタ利益金處分案ヲ見マスルト、第一年次ニ六十三萬圓、第五年次ニ五百八十八萬圓ト云フ利益ヲ得ルヤウナ計算ガ出テ居リマス、サウシテ二年目ニ民間五分、五年目ニ民間ガ七分、政府ガ四分ノ配當ヲ受ケルヤウナ計算ガ出テ居リマスガ、此ノ

着ト云フコトニ餘程重キヲ置イテ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ會社ノ方八十箇年ニ一萬町歩位ハオヤリニナルヤウデアリマスガ、今ノ植林事業ノ方ト相關聯シテ居ルコトデアリマシテ、農耕地ニナルヤウナ所ハ固ヨリ是ハ除外ラシテ、其處ニ定着サセルヤウナ計畫ヲ立テナケレバナラスノデアリマシテ、サウ云フ點カラ言ヒマス、將來大體農家ヲ何万戸入レルト云フヤウナコトノ凡ソノ見通シト云フモノハヤハリ立テ置カレルコトガ必要デアラウト思フノデアリマシテ、地下資源ガ涸渇シテ、唯森林ダケニ依ラナケレバナラスト云フヤウナ時ガ將來來ルノデアリマスカラ、サウナルト今ノ「バル」事業ヤ何カノ爲ニ定着スル住民ノ外ニ、ヤハリ農畜業ニ依ツテ定着スル農民ノ方ガ最モ永久性ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フコトハヤハリ大體ノ見透シヲ付ケテ、例ヘバ先刻申シマシタ滿洲ノ二十箇年百万移住ト云フ風ニ大體ノ計畫ヲ立テラレテ、大體ノ豫想ヲ以テ着々オヤリニナルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、ソレダケ附加ヘテ私ノ意見ヲ申述ベテ置キマシテ、是デ私ノ質疑ハ打切りマス

内譯ハ、例ヘバ本會社ガヤル仕事ノ石炭礦業、林業、農業、此ノ三ツノ利益ヲ例ヘバトスレバ、石炭ガ五デ、農業ガ三デ、林業ガ二ト云ツタ工合ニ、大體ノ目安ガ分レバ結構デスカラ、其ノ率ニ付テ先ヅ御示シヲ願ヒタイ

○小河政府委員 其ノ率ハ一寸分リ兼ネマスガ、石炭礦業ニ於キマシテハ初年度ノ利益ガ三十四萬圓、ソレカラ斫伐事業ニ於キマシテハ六十二萬餘圓、造林ニ於キマシテハ「マイナス」約五萬圓、ソレカラ農業經營ハ初年度ハ致シマセスカラ損益トモ全然ゴザイマセヌ、其ノ他ノ事業ニ於キマシテ二十八萬餘圓ノ「マイナス」、差引キ致シマシテ初年度ガ約六十四萬圓、ソレカラ五年度ニ於キマシテ、石炭採掘ニ依ル利益ガ三百二十二萬圓、斫伐事業ニ依ル利益ガ二百八十四萬餘圓、造林ニ於キマシテハ約二十四萬餘圓ノ「マイナス」、農業經營ニ於キマシテハ約十萬圓ノ「マイナス」、其ノ他ノ事業ニ於キマシテ約百七十七萬圓ノ「マイナス」、差引キ致シマシテ、五年度ハ三百九十六萬餘圓ノ利益、ソレカラ十年度ニ於キマシテ、石炭ニ於テ四百二十五萬圓ノ利益、斫伐事業ハ五年度ト同ジク二百八十四萬餘圓ノ利益、造林ハヤハリ五年度同様約二十四萬圓ノ「マイナス」、農業經營ハ三十二萬餘圓ノ利益、其ノ他ノ事業ハ二百十二萬餘圓ノ損失、差引キ致シマシテ五百五十五萬餘圓ノ利益ト云フヤウナ大體ノ計算ニ相成リマス

○松尾(孝)委員 先刻私資料トシテ御願ヒ致シマシタガ、南名好炭礦ニ付テ御調ベニナツタ、例ヘバ地質トカ、石炭ノ層ノ工合トカ、ソレカラ石炭ハ大體七千「カロリ」以上、三千五百万「トン」ノ埋藏量ガアルト云

フ御話デスガ、此ノ炭礦ノ露頭ガ幾ラアルトカ、御掘リニナル箇所ガ幾ラアルトカ、或ハ斜坑デ何「メートル」位入ルカ、豎坑デ何「メートル」位入ルカ、ソレカラ山元カラ坑所マデノ約八「キロ」カ九「キロ」ノ間鐵道ヲ敷カナケレバナラスト云フ先刻ノ御話デシタガ、其ノ鐵道ノ建設費ハドノ位要スルカ、ソレニ付テ何カ目論見ガアリマシタラ御示シ願ヒタイ

○小河政府委員 詳細ナ御尋ネデ、調べヲ寫シマスコトガ困難デアリマスカラ、概要ダケ申上ゲタイと思ヒマス

南名好炭田ハ、南名好川ヲ廻リマシテ、其ノ上流約八「キロ」位ノ所カラ以東十五「キロ」ニ至リマス流域デアリマシテ、其ノ延長ハ南北約七「キロ」、幅員ハ最大ノ所デ約六「キロ」ニ及ビマシテ、其ノ面積一千万坪デアリマス、ソレカラ炭層ハ先程申シマシタヤウニ下部夾炭層ノ瀝青炭ニ屬シテ居リマシテ、炭層數ハ五層デアリマスガ、其ノ礦區ノ一部デハ此ノ中ノ二層若シクハ三層ヲ缺イテ居ル所ガザイマス、中央ヲ南北ニ走ル所ノ背斜軸ニ依リマシテ東西兩翼ニ分レテ居ルヤウニ察セラレマシテ、南名好川以北ニ於テハ西翼ノ發達ガ稍、不明瞭デアリマス、炭層ノ傾斜ハ二十度乃至八十度デアリマシテ、平均四十五度ヲ示シテ、炭層ノ厚サハ一「メートル」乃至一「メートル」半デアリマス、ソレカラ炭質ハ先程申上ゲマシタヤウニ瀝青炭デアツタ不粘結性デアリマス、灰分ガ非常ニ少クテ熱量ハ大デゴザイマス、隨テ工場用、家庭用、又ハ一般燃料用若シクハ瓦斯發生用ニモ用フルコトガ出來ルト思ヒマス、本斗カラ名好ニ至リマサル區間ハ、本斗内幌間ノ約四「キロ」ハ、

三菱ノ内幌ノ私設鐵道ガアリマシテ、内幌カラ南名好河口ニ至ル十六「キロ」ノ間、約四里デゴザイマスガ、國道ハ通ジテオリマスルガ、其ノ他ノ鐵道等ハ、只今ノ所デハゴザイマセヌ、南名好河口カラ礦區マデ稼業ヲ致シマスル區域ニ至ル約十二「キロ」ハ植民道路ガゴザイマスルガ、之ニ運炭軌道ヲ敷設スル計畫ニナツテ居リマス、此ノ運炭軌道ノ距離ハ約十五「キロ」ヲ數ク豫定デゴザイマシテ、三百七十五萬圓ノ經費ヲ豫定デゴザイマス、大體以上ノ通りデアリマス

○松尾(孝)委員 其ノ次ニ伺ヒタイノハ、先刻モ手代木君カラ御話ガアリマシタガ、資材、勞力、技術、或ハ動力ト云ツタヤウナモノヲ、此ノ事業ノ爲ニ確保スルコトハ私モ非常ニ困難ダと思ヒマスガ、其ノ中デ資材ハ先刻企畫院カラ特別ニ生産擴充ノ割當ニ依ツテ配付サレルト云フ御話デアリマスガ、勞力トカ技術方面ニ付テ、是ハ島内デ補充スルコトハ容易デナイト思ヒマスガ、之ニ對スル何カ特別ノ御計畫等ガアレバ御示シヲ願ヒタイ、ドノ位要スルカ

○小河政府委員 其ノ要スル數量ハ、一寸今此處デ即刻申上ゲ兼ネマスガ、大體此ノ炭礦ハ、既ニ今年カラ露頭調査ヲ始メテ居リマシテ、是ハ東洋拓殖株式會社ニ委託致シテ居リマス、隨テ本炭田カラノ出炭ノ計畫ハ、樺太ノ増產計畫ノ中ニ織込マシテ居リマシテ、企畫院ニモ其ノ計畫デ出シテゴザイマス、企畫院カラモソレニ資材、勞力其ノ他ノ割當ヲシテ貰ツテ居ル關係上、之ヲ特殊ナ會社ニ致シマシテ、新タニヤツタガ故ニ、他ノ當業者ヲ壓迫スルト云フコトニハ相成ラヌト考ヘテ居リマス、其ノ勞力ノ數量ハ、坑夫ハ百万「トン」年產出炭致シマ

スルノニ、約四千人ノ豫定デゴザイマス

○松尾(孝)委員 其ノ次ニハ此ノ炭礦事業ヲ經營スル爲ニ其ノ地方ニ於ケル所ノ教育施設トカ衛生ノ施設等ヲ直チニ要スルグラウト思ヒマス、是等ニ對シテハ樺太廳自身ガオヤリニナルカ、或ハ此ノ會社ヲシテ一部ヲ負擔セシムルヤウナ方法ヲ御執リニナルカト云フコトヲ御聽キシタイ

○小河政府委員 教育ノ方ハ市町村デ之ヲ經營スル建前ニ相成ツテ居リマス、ソレカラ一般從業員ノ衛生狀態ニ關シマシテハ、此ノ炭礦デ病院ヲ持ツテ從業員ニ對スル衛生狀態ノ確保ヲ致ス計畫デゴザイマス、是ハ表面ノ話デゴザイマスガ、事實上ハ學校ヲ經營致シマスル際ハ、市町村ニ對シテ斯様ナ大企業家ハ多額ノ寄附ヲ仰付カリマシテ、實際上ハ會社ガ經營スルト同様ナモノデゴザイマスルガ、教育機關トシマシテハ市町村ノ公立ト相成ル豫定デゴザイマス、尙ホ醫療機關ニ致シマシテモ、建前ハ從業員ノ診療ニ從事スルノデゴザイマスガ、實際ハ附近部落民共ニ診療ヲ致シテ居リマス、サウ云フ風ニシテ進ム豫定デゴザイマス

○松尾(孝)委員 次ニ御伺ヒシタイノハ、此ノ會社ガ石炭ノ採掘、森林ノ斫伐、造林ノ外ニ、其ノ他經濟開發ノ爲メ必要ナル事業トシテ、中小炭礦業者ニ對スル資金ノ貸與、其ノ他經濟開發ノ爲ニ必要ナル事業ヲ行フトアリマスガ、此ノ中小炭礦業者ニ對スル資金ノ融通ハドウ云フ方法デアリニナルカ、大體ノ御考ヘヲ御示シ願ヒタイ

ソレカラ此ノ會社ハ石炭ノ原料トスル所ノ他ノ工業ノ方ノ何カ子會社ト云フヤウナモノヲ設ケルヤウナ場合ガアルノデアリマスガ、或ハサウ云フ方面ニ助成スルヤウナ御考ヘガ

アルカドウカラ御示シ願ヒタイ

○小河政府委員 御答へ申上ゲマス、其ノ條文ニアリマスル資金ノ融通ト云フヤリ方ハ、將來ハ普通ノ貸付マデ致シタイと思ヒマスルガ、取敢ズノ仕事ト致シマシテハ、株式ヲ以テ投資スルコトニ依ツテ資金ノ融通ヲ致ス一途ダケニ致シテ居リマス、隨テ此ノ開發上必要ナル事業トシテヤリマスモノノ中ニハ、各種ノ仕事ガゴザイマシテ、或ハ農水產物ノ加工事業モゴザイマスシ、ソレカラ只今申サレマシタ石炭加工ノ問題、或ハ硫酸デアリマスルトカ、石灰窒素デゴザイマスルトカ、「カーバイド」デアリマストカ、更ニ進ミマシタナラバ液化ノ仕事モゴザイマセウガ、斯様ナ各種ノ之ヲ原料トシタ仕事ニモ適當ナル企業者ガアリマシテ、是ト提携スルコトガ有利且ツ安全ナリト思ヒマスル企業者ガアリマシタ際ハ、之ニ一部ノ株式資金ヲ負擔致シマシテ、サウジテ是ガ經營ヲ致ス考ヘデアリマス、左様ナ意味合ヲ以チマシテ、此ノ五千萬圓ノ會社ニ對シテ、三倍ノ社債ノ發行能力ヲ特ニ法律ニ御認メヲ願ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○松尾(孝)委員 拓務大臣ハモウ才見エニナラナイノデスカ

○沖島委員長 拓務大臣ハ今日ハモウ御見エニナルコトガ不可能カト思ヒマスガ、若シ大臣ニ御質疑ノ點ガ殘ツテ居リマスレバ次ノ委員會ニ於テ又大臣ノ御出席ヲ要求スルヤウニ致シタイと思ヒマス

○松尾(孝)委員 ソレデハ私ハサウ御願ヒシタイト思ヒマス

○沖島委員長 是デ本日ハ散會致シマス、

次會ハ明日午前十時カラ開會致シマス
午後五時四十八分散會